



取扱説明書

DVA-9965J

DVD-Video Tuner

MP3 **4i-NET** **MLX**



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL : 0570-006636

全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL : 048-662-6636

- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30 ~ 17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX : 048-662-6676

- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (Y-608)

68-02065Z35-A

⚠ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が死亡または重傷を負う可
能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が傷害を負う危険が想定される
内容および物的損害のみの発生が想定
される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。
感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイの
すきまには、指や異物を入れないで
ください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、
本機から離れてご使用になることをお勧めします。
また、リモコンスターターやカーセキュリティシステムも誤
動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。
初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願い
いたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いにな
れません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジ
ンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期
駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに霧が
つき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほ
どディスクを取り出しておくで正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こす
ことがあります。プレーヤーには影響ありません。
車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペン
ションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないで
ください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではあり
ません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでくだ
さい。無理な力が加わり故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」
（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズ
クリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となりま
す。

本機で再生できるディスクについて

●再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク（ロゴ）	記録 内容	ディスクの 大きさ	最長再 生時間
DVD ビデオ		音声 + 映像 （動画）	12cm*	片面 ディスク 約4時間
				両面 ディスク 約8時間
			8cm	片面 ディスク 約80分
				両面 ディスク 約160分
ビデオ CD		音声 + 映像 （動画）	12cm	約74分
			8cm	約20分
音楽 CD		音声	12cm	約74分
			8cm （CDシングル）	約20分

* DVD二層ディスクに対応しています。

** ディスクレーベル面に「CDロゴ」上記マークの入ったもの
などJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

●再生できないディスク

DVD-ROM、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、CD-ROM
（MP3/WMAファイルを除く）、フォトCD、ナビゲーション専
用ディスクなど。

●DVDリージョン番号（再生可能な地域番号）について

このDVDヘッドユニットのリージョン番号は2です。DVDビ
デオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリー
ジョン番号 を含んでいないまたは、 が表示されていないデ
ィスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更
することはできません。



●ビデオCDについて

本機は、プレイバックコントロール（PBC）付き対応ビデオ
CD（バージョン2.0）に対応しています。
PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、
見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言
います。

● コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) のご使用について

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最適な音質の保証は致しかねます。
また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-ReWritable) / MP3/WMAファイル形式のCD-R / CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている / 車内や製品内に長時間放置した / データ書き込み状態が不安定 / データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMAファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは87ページを参照してください。

● コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) の取り扱い 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼らない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

● CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度お試しください。

● DVD-R/DVD-RWディスクのご使用について

- ・ 本機は、DVD-Videoモードで記録されたディスクにのみ対応しております。DVD-VRモードで記録されたディスクの再生はできません。
- ・ ファイナライズ処理 (再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理) がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ・ ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。(本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります)
- ・ 録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- ・ DVD-R/DVD-RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- ・ DVD-R/DVD-RWディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- ・ DVD-R/DVD-RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。

● ディスクに関する用語について タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

● 取り扱い上のご注意 (ディスク)

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

ディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ (突起) があると "Error" と表示します。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー、PRO LOGICおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSおよびDTS 2.0+Digital Outは米国Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

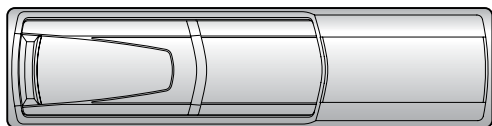
Windows Media™およびWindows™ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Apple、iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

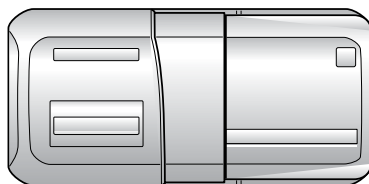
MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスして下さい。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER CHA-S634



MD CHANGER MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD6枚チェンジャーが、CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

- 別売のKCA-410C(Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど(外部入力)2台、計4台の製品を接続することができます。
- CHA-S634は、M.I.X. ALL機能はありません。



目次

安全にお使いいただくために

警告 / 注意	2
目次	6

基本操作

基本操作

GlideTouch™ Bar (グライドタッチ・バー)	
の操作について	8
リセットする	9
電源のON/OFF	9
ディスプレイの角度調整	9
ディスプレイの開閉	10
音量 / バランス / フェダー / ディフューズの調整	10
セットアップ (SETUP) について	11
DVDの初期設定 (SETUP) について	11

DVD / ビデオCD

DVD / ビデオCD操作

DVD / ビデオCDを再生する	12
再生中止 (PRE-STOP)	13
再生停止	13
早送り / 早戻し	13
チャプター / トラックの頭出し	13
静止 (一時停止) する	14
コマ送り / 戻し再生	14
スローモーション再生	14
タイトル番号で頭出し (DVDのみ)	14
チャプター / トラック番号で直接頭出し	14
チャプター / トラック / タイトルリピート再生	15
音声言語切りかえ	15
アングル切りかえ (DVDのみ)	16
サブタイトル (字幕言語) 切りかえ (DVDのみ)	16
ディスクの使用状態を表示する (DVDのみ)	17
ディスクの使用状態を表示する (ビデオCDのみ)	17
グライドタッチバーからの操作	17

CD

CD操作

CD (ディスク) を聴く	18
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	18
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	19
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	19
CDテキストから探す	20

MP3/WMA

MP3/WMA操作

MP3/WMAを聴く	21
フォルダを選択する	22
フォルダ / ファイルサーチ	22
MP3/WMA再生データの設定	22

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	23
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	23
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	23

チェンジャー

チェンジャー操作

チェンジャーでMD/CDを聴く	24
-----------------------	----

ラジオ

ラジオ操作

ラジオを聴く	25
放送局を記憶する	25
自動的に放送局を記憶する	25
記憶した放送局を受信する	26
道路交通情報を受信する	
TRF (トラフィックインフォメーション)	26
周波数から探す	26

テキスト

テキスト操作

テキスト / スクロールとは	27
テキストを表示する	27
スクロールの設定	28
スクロールタイプの設定	28

サウンド

サウンド調整

MXモードの設定	29
X-OVERとは	30
X-OVERの調整と記憶 / 呼び出し	31
Factory's EQモード (メーカー設定) を選ぶ	32
イコライザーモードの設定	32
パラメトリックEQの調整と記憶 / 呼び出し	32
グラフィックEQの調整と記憶 / 呼び出し	33
タイムコレクション (時間補正) について	34
タイムコレクションの調整と記憶 / 呼び出し	35
タイムコレクションの調整単位の設定	35

便利な機能

便利な機能

操作音の切りかえ	36
操作音パターン切りかえ	36
照光スイッチの色を切りかえる	36
照光スイッチの色を調整する	37
動画表示の設定	37
ディスプレイ表示部をOFFにする	
(BLACK OUT機能)	37
表示する文字フォントの設定	38
ディスプレイの明るさ設定	38
ディスプレイの明るさレベルの調整	39
ディスプレイ色の切りかえ	39
オープニングメッセージのON/OFF	39
カレンダー表示パターンの設定	40

CD録音速度の設定	40
リアDVD機能	40
i-Personalize™データダウンロード	41
壁紙ダウンロード	42
時刻を表示する	42
時刻 / カレンダーを設定する	43
時刻表示の設定	43
デモンストレーション機能の設定と解除	44
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	44
ツイーター設定	45
AMPを呼び出して調整する	46
外部アンプの情報を表示させる	46
AMPの温度表示切り替え	47
外部入力の設定	47
外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)	48
デジタルアウトの設定	48
光デジタル対応オーディオプロセッサを 接続する	48
外部割り込み時のディフュージョン設定	49
外部割り込みモードの設定	49
DVDの初期設定 (SETUP)	
言語設定を変更する	50
TVスクリーン設定を変更する	51
カン트리コード設定を変更する	51
視聴規制 (パレンタルロック) を設定する	52
デジタル出力設定を変更する	53
カスタム設定 (CUSTOM SETUP)	
CD 再生モードを設定する	54
ビデオCD再生モードを設定する	54
一時停止時の映像出力を設定する	55
ダウンミックスを設定する	55

オーディオプロセッサ

外部オーディオプロセッサの操作 (オプション)	
ドルビーサラウンドの調整手順	56
スピーカーの設定をする	56
外部オーディオプロセッサのMXモードを 設定する	57
X-OVERの設定	57
時間補正を行う (TCR) / 位相切り替え	58
グラフィックEQの調整	59
パラメトリックEQの調整	60
Bass Compressorの設定	60
スピーカーセットアップ	61
ドルビーデジタルを設定する	61
PRO LOGIC IIを使う	64
リニアPCMの設定	65
記憶する	65
記憶した値の呼び出し	65

iPod™操作

iPod™操作	
iPod™の曲を聴く	66
聴きたい曲を探す	66
クイックサーチ	67
曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)	68
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	68
テキストを表示する	69

リモコン

リモコン操作	
使用時のご注意 / 電池を入れる	70
リモコンボタンの機能	71

取り付けと接続

取り付けと接続	72
---------	----

その他

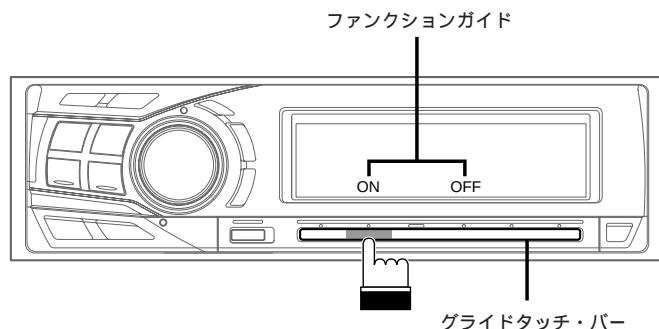
故障かな?と思ったら	79
規格	82
保証について	82
お問い合わせ窓口	83
用語解説	84
言語コード表	85
DVDについて	86
MP3/WMAについて	87
知っておきたい豆知識	88
索引	90



基本操作

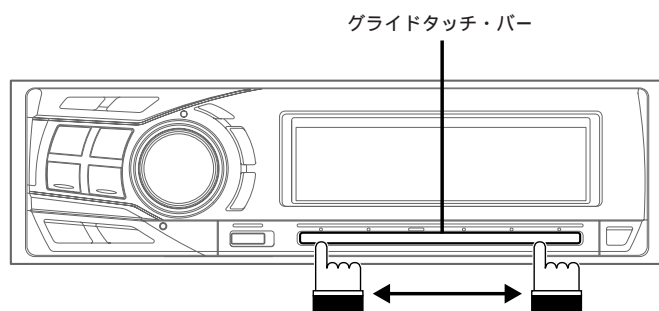
GlideTouch™ Bar(グライドタッチ・バー)の操作について

1 指定ポイントをタッチまたは押す。



ファンクションガイドに割り付けられたグライドタッチ・バーの6つのポイントのいずれかを押します。
たとえば、ファンクションガイド表示のONを選ぶ場合には、ガイド表示のONの位置の下部にある「グライドタッチ・バー」のポイントを押して確認し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押します。
本書では、指定ポイントの動作をさせるために“「グライドタッチ・バー」の（ON）にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。”と表現しています。

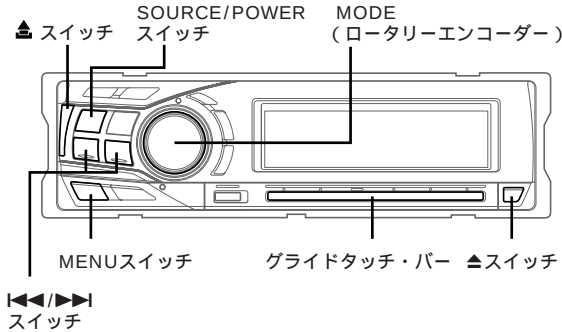
2 左右にスライドさせる。



グライドタッチ・バーを指でタッチし、左右方向へスライドします。スライドするとディスプレイに表示された項目やリストが変化します。

次ページにも選択する項目がある場合には、次の方法でページを送ることができます。

- ・「グライドタッチ・バー」の右端または左端（ページがある方）を3秒以上タッチする。



電源のON/OFF

- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「SOURCE/POWER」を押す。
電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「SOURCE/POWER」を2秒以上押す。

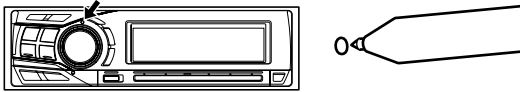


- 電源は「▲」、「▶」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CDを挿入すれば電源が入ります。

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、必ずリセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「SOURCE/POWER」を2秒以上押して、電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。

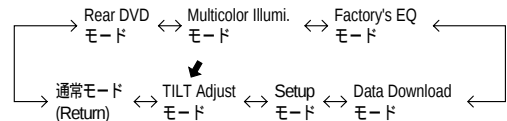


- リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。リセットしたときやバッテリー電源コードをはずした場合、下記の内容が消去されます。MP3/WMA再生データの設定、ディスプレイ角度設定

ディスプレイの角度調整

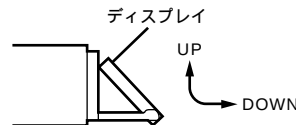
ディスプレイを見やすい角度（3段階）に調整することができます。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてTILT Adjustモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



CDモードやMMDRIVERモード（HDA-5460MS/HDA-5465MS/MDA-5060MS/MDA-5065MS接続時のHDDまたはMGMSモード）のみ

- 3 「グライドタッチ・バー」の↑(UP)または↓(DOWN)にタッチして希望の角度に調整する。
⊙(RETURN)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押すと、メニューモードに戻る。

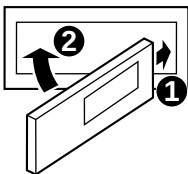


- 4 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- ディスプレイは、イグニッションキーをOFFにしてしばらくすると全閉します。次に本機の電源をONにすると、調整した角度となります。

- フロントパネルを取り外してしまったら、次の方法でもとに戻してください。
① 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
② 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっている場合でも故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。





基本操作

ディスプレイの開閉

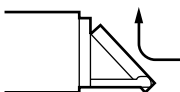
イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

- 1 「▲」を押す。
ディスプレイが開く。



(ディスプレイが開ききった状態)

- 2 開いたディスプレイを戻すには、「▲」を押す。
 - ・角度調整あり
ディスプレイは記憶された角度になる。
 - ・角度調整なし
ディスプレイは全開する。



- 本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- イグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全開します。

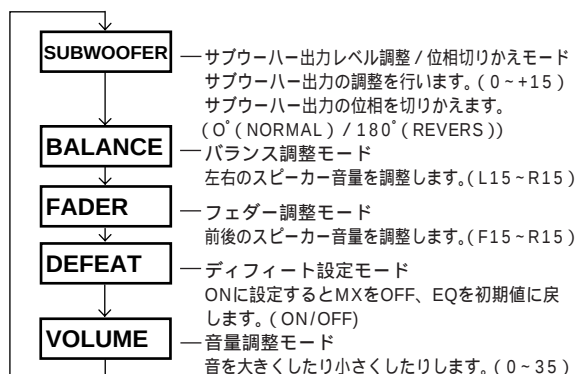
メニューモードについて
メニューモードとは、「MENU」を押してから各設定/調整を行うモードのことです。

- メニューモード中に「MENU」を押すと1つ前の選択項目に戻ります。
- メニューモード内の(Return)を選ぶと、通常モードまたは1つ前の項目に戻ります。
- メニューモードでは60秒間何も操作を行わなかった場合、モードが解除されます。
- メニューモード中は、ボリュームの操作はできません。



音量/バランス/フェダー/ディフィートの調整

- 1 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押して調整したいモードを選ぶ。



- 2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。



3WAY/2WAY切りかえスイッチ(74ページ参照)を「3WAY」に設定している場合、フェダー調整はできません。

- SUBWOOFER (サブウーハー) が「OFF」に設定されている場合は、SUBWOOFERの調整は行えません。(44ページ参照)
- サブウーハーの位相切りかえは、SUBWOOFERを選んだ後、「◀◀」または「▶▶」を押して切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。



セットアップ (SETUP) について

本機には、さまざまなセットアップ (SETUP) 機能が用意されています。例えば、ディスクテキストなどのスクロール表示を設定する「スクロール設定」など、自分好みの設定に変更することができます。

それぞれの設定については、下表を参照し該当ページをご覧ください。

設定項目	参照ページ	切り替え内容
GENERAL		
時刻表示の設定	43	12HOUR/24HOUR
時刻 / カレンダーの設定	43	CLOCK 年 / 月 / 日 / 時 / 分
MP3/WMA再生データの設定 ⁷	22	PLAY MODE CD-DA/MP3/WMA
操作音設定	36	BEEP ON/OFF
操作音パターン切り替え	36	TYPE1/TYPE2/TYPE3
外部割り込みの設定	49	INT MUTE ON/OFF
外部割り込み時のデフォルト設定	49	INT AUDIO ON/OFF
外部入力の設定	47	AUX IN ON/OFF
AUX表示切り替え ¹	48	AUXILIARY/TV/VTR/GAME
デジタルアウトの設定 ⁴	48	ON/OFF
外部オーディオプロセッサ入力切りかえの設定 ⁵	48	H510/OTHERS
AUDIO		
サブウーハーON/OFF	44	SUBWOOFER ON/OFF
イコライザーモードの設定	32	P.EQ/G.EQ
チューナー設定 ²	45	TW SETUP MAKER'S/USER'S
CD録音速度の設定 ⁶	40	× 1 / × 2
DISPLAY		
ディスプレイの明るさ設定	38	DIMMER AUTO/MANUAL
ディスプレイの明るさレベルの調整	39	DIMMER LEVEL 1/2/3
ディスプレイ色の切り替え	39	OFF/AUTO
スクロールの設定	28	TEXT SCROLL AUTO/MANUAL
スクロールタイプの設定	28	SCROLL TYPE TYPE1/TYPE2
表示する文字フォントの設定	38	FONT SELECT TYPE1/TYPE2
アンプの温度表示切り替え ³	47	A-LINK TEMP °C / °F
動画表示の設定	37	BGV SELECT OFF/1/2/3/4
オープニングメッセージのON/OFF	39	OPENING MSG ON/OFF
カレンダー表示パターンの設定	40	CALENDAR dd/mm/yyyy / yyyy/mm/dd
タイムコレクションの調整単位の設定	35	T.CORR PARAMETER ms/cm/inch
DEMO		
デモン/ON/OFF	44	DEMO ON/OFF

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。

- 1 AUX IN ONのとき表示される
- 2 3WAY/2WAY切り替えスイッチを3WAYに設定したときのみ
- 3 別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ
- 4 当社の外部オーディオプロセッサ非接続時に表示される
- 5 当社の外部オーディオプロセッサ接続時に表示される
- 6 当社HDD録音機能搭載の2倍速対応製品接続時に表示される
- 7 本機にディスクが入っているときはSTOP状態にするかもしくはディスクが入っていない時に表示される



- ディスプレイ上に、TUNERセットアップアイコンが表示されますが、本機では使用できません。

DVDの初期設定 (SETUP) について

DVDソフトには、複数の言語 (音声や字幕など) を記録しているものや、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものなどがあります。それらのDVDソフトを視聴するときに、毎回設定するのは大変になります。そこで、あらかじめそれらの内容を設定することができます。

設定内容は以下のとおりです。

設定方法については、各項目のページをご覧ください。

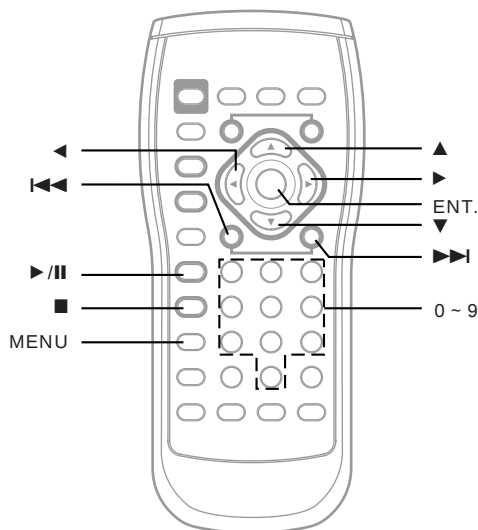
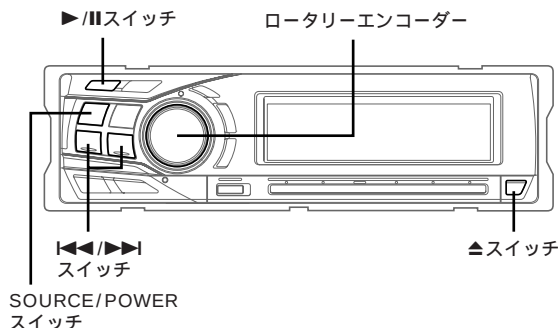
設定項目	参照ページ	設定内容
言語設定 (LANGUAGES)	50	音声 / 字幕 / メニュー言語 AUTO
TVスクリーン設定 (TV SCREEN)	51	16:9(WIDE)/4:3(LB)/ 4:3(PS)
カントリーコード設定 (COUNTRY CODE)	51	7480 (日本)
視聴規制設定 (PARENTAL)	52	規制レベル値 (1 ~ 8、 OFF)
デジタル出力設定 (DIGITAL OUT)	53	DOLBY D/DTS/MPEG LPCM
カスタム設定 (CUSTOM SETUP)		
CD再生モード設定 (CD PLAY MODE)	54	CD-DA/COMPRESSED AUDIO
ビデオCD再生モード設定 (VCD PLAY MODE)	54	PBC ON/PBC OFF
一時停止設定 (PAUSE MODE)	55	AUTO/FIELD/FIELD
ダウンミックス設定 (DOWNMIX MODE)	55	STEREO/ SURROUND ENCODED

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。



- セットアップ (SETUP) で設定した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずした場合、一部の設定内容が消去されます。詳しくは「リセットする」(9ページ)を参照してください。

DVD / ビデオCDを再生する

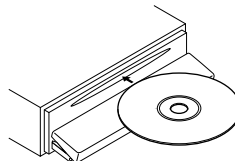


- ⚠ 注意**
- DVDの場合、ディスクによって各種操作を禁止しているものもあり、これらのディスクでは操作を受け付けない場合があります。
 - ディスクによっては本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書も合わせてご覧ください。
 - ディスクに指紋が付くと再生しない場合があります。再生しない場合は、ディスクを取り出し、きれいにふき取ってからご使用ください。
 - リモコンのボタンを押すときは、1つずつ確実に押してください。同時に複数のボタンを押すと誤動作の原因になります。
 - 再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにする、またはソースを切りかえても、次に電源をONにすると続きから再生します。ディスクを取り出した場合はプレイポジションメモリは解除されます。
 - ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。⓪マークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。
 - PAL方式のディスクを挿入した場合は、メッセージを表示して再生できません。

1 ディスクを挿入する。 再生が始まる。

< 挿入時の注意 >

- ラベル面を上にする。

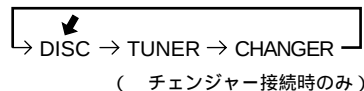


DVD / ビデオCD操作

- DVD/ビデオCD操作は、添付リモコン、本体（一部除く）の両方から操作することができます。本項目では、リモコンと本体からの操作をあわせて説明致します。（ガイドタッチバーからの操作については、17ページをご覧ください。）
- DVD/ビデオCDを観るときは、別売モニターが必要となります。
- プレイポジションメモリ機能：
再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしたり、ソースを切りかえても次に電源をONすると続きから再生します。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、DISCモードにすると演奏が始まります。



- 両面ディスクのDVDは、自動でウラ面を再生しません。ディスクを取り出しウラ返しに入れ直してください。
- プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCD再生中にSELECT画面が表示された場合は、「▶/II」を2秒以上押すと再生されます。

2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0～35）を調整する。

3 ディスクを取り出すときは、本体の「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

● メニュー画面が表示されたら

DVDやプレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDでは、自動的にメニュー画面が表示される場合があります。この時は次の操作を行い再生させてください。



- ディスクによって異なりますが、リモコンの「MENU」を押してメニュー画面を表示させることもできます。

DVDメニュー

リモコンの「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して希望の項目を選び「ENT.」を押す。



- ディスクによっては「0～9」（10キー）で直接メニュー項目を選ぶことができます。

ビデオCDメニュー

リモコンの「0～9」（10キー）を使い希望する番号を選び「ENT.」を押す。



- PBCがOFFになっている場合はメニュー画面は表示されません。詳しくは「ビデオCD再生モードを設定する」（54ページ）を参照してください。

再生中止（PRE-STOP）

再生中に停止ボタンを押すと止まり、その位置を記憶します。

1 再生中にリモコンの「■」を1回押す。
「PRE-STOP」と表示される。

2 PRE-STOP中に「▶/||」を押す。
再生中止した位置から再生される。



- ディスクによってはPRE-STOPしたとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。

再生停止

1 再生中にリモコンの「■」を2秒以上押す。
「STOP」と表示される。



- 「■」を2回押しても再生は停止します。
- 停止中に「▶/||」を押すと始めから再生されます。

早送り / 早戻し

1 再生中に「◀◀」（早戻し）または「▶▶」（早送り）を押し続けると、2倍速で早送り / 早戻しする。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り / 早戻しができる。

2 通常再生に戻すには「◀◀」または「▶▶」をはなす。



- 早送り / 早戻し中に音声は出力されません。
- PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDでは、再生中のトラックのみ早送り / 早戻しができます。
- DVDおよびプレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDでは早送り / 早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。

チャプター / トラックの頭出し

1 再生中に「◀◀」または「▶▶」を押す。
押すたびにチャプター / トラックが切りかわる。選んだチャプター / トラックの再生が始まる。

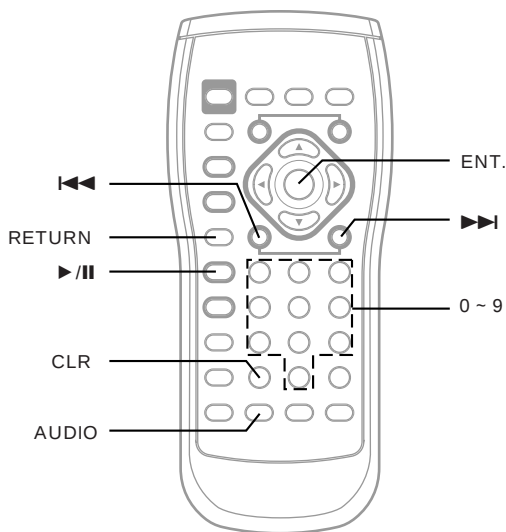
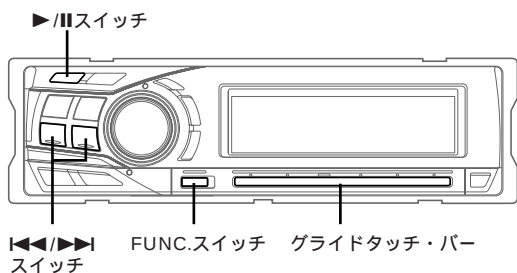
- ▶▶ 一つ後のチャプター / トラックの頭から再生。
- ◀◀ 現在のチャプター / トラックの頭から再生。続けて押すと、一つ前のチャプター / トラックの頭から再生。



- DVDによっては、チャプターが無いものもあります。
- PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDでは、トラックの頭出しができない場合があります。「ビデオCD再生モードを設定する」（54ページ）をPBC OFFに設定してください。

補足説明

チャプターとは、DVDに記憶されている映像や曲の区切り。トラックとは、ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切り（1曲分）。



静止（一時停止）する

- 1 再生中に「▶/||」を1回押す。
- 2 再度、再生するには「▶/||」を押す。



- 静止中に音声は再生されません。
- 一時静止画（ポーズ）の状態から再生を開始すると画像や音声が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り / 戻し再生

- 1 一時停止中に「I◀◀」または「▶▶I」を押す。
押すたびに1コマずつコマ送り / 戻し再生する。
- 2 通常再生に戻すには「▶/||」を押す。



- コマ送り / 戻し再生中に音声は再生されません。
- ビデオCDではコマ戻し再生はできません。

スローモーション再生

- 1 一時停止中に「I◀◀」または「▶▶I」を押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生になる。
さらにその状態で5秒押し続けると1/2倍速にスローモーションの速度が変わる。
- 2 「I◀◀」または「▶▶I」をはなすと、一時停止になるので、「▶/||」を押して再生させる。



Memo

- スローモーション再生中に音声は再生されません。
- スライドショーを再生中にスロー再生はできません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよそその速さです。ディスクによっても異なります。
- ビデオCDではバックスローモーション再生はできません。

タイトル番号で頭出し（DVDのみ）

DVDに記憶されているタイトルから簡単に頭出しができます。

- 1 再生停止中に、再生させたいタイトル番号をリモコンの「0」～「9」で入力する。
- 2 リモコンの「ENT.」を押す。
選んだタイトル番号から再生が始まる。



Memo

- PRE-STOPの状態ではチャプター / トラック番号の頭出しになります。
- タイトル番号が記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- タイトル番号が2桁のときは、手順2の「ENT.」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「CLR」を押すたびに、タイトル番号を1桁ずつ消去できます。「CLR」を2秒以上押すと、タイトル番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと、頭出しモードは解除されます。

チャプター / トラック番号で直接頭出し

ディスクに記憶されているチャプター / トラックを簡単に頭出しできます。

- 1 再生中またはPRE-STOP中に、再生させたいチャプターまたはトラック番号をリモコンの「0」～「9」で入力する。
- 2 リモコンの「ENT.」を押す。
選んだチャプター / トラックから再生が始まる。



- チャプターが記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- PBC (プレイバックコントロール) 付きビデオCDでは、トラック番号の直接頭出しはできません。「ビデオCD再生モードを設定する」(54ページ)をPBC OFFに設定してください。
- 入力桁数によっては、手順2の「ENT.」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「CLR」を押すたびに、チャプター/トラック番号を1桁ずつ消去できます。「CLR」を2秒以上押すとチャプター/トラック番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと頭出しモードは解除され通常再生に戻ります。

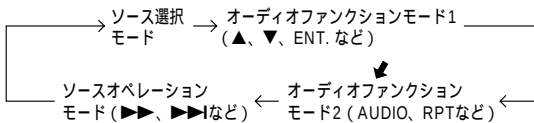


- プレイバックコントロール (PBC) 付きビデオCDではトラックリピート/ディスクリピートは使用できません。「ビデオCD再生モードを設定する」(54ページ)をPBC OFFに設定してください。
- ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。

チャプター/トラック/タイトルリピート再生

ディスクのタイトルやチャプター、トラックを選び繰り返し再生できます。

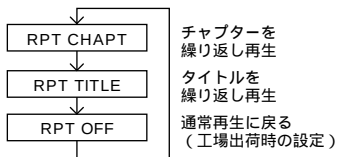
- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



DVDモードのみ

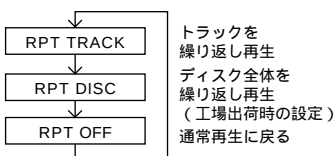
- 2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチして RPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
押すごとにリピートの種類がかわる。

DVD



- 「グライドタッチ・バー (RPT)」を2秒以上押すと、強制的にREPEAT OFFになります。

ビデオCD



DVDチェンジャー接続時のみ

音声言語切りかえ

複数の音声または音声言語が記録されているDVDでは、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

- 1 再生中にリモコンの「AUDIO」を押す。
押すごとにディスクに記録されている音声が変わる。

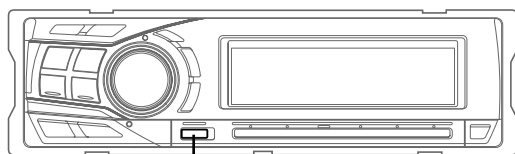


- 電源投入時/ディスク交換時は初期設定 (50ページ) で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから音声を選んでください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

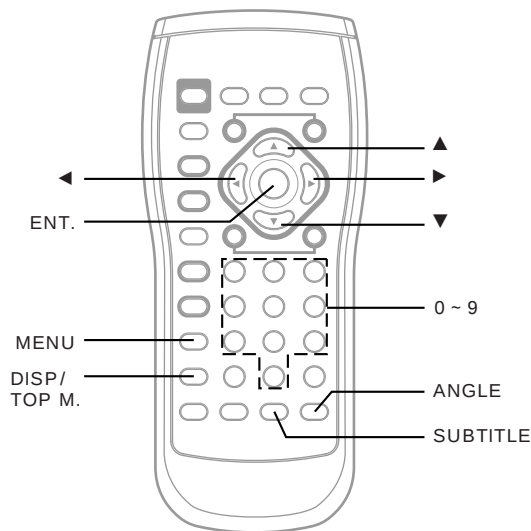
- 多重音声記録されているビデオCD

- 1 再生中にリモコンの「AUDIO」を押す。
押すごとにLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせがかわる。

LR → LL → RR → LR



FUNC.スイッチ



サブタイトル（字幕言語）切り換え（DVDのみ）

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語を切り換えたり非表示にすることができます。

- 1 再生中にリモコンの「SUBTITLE」を押す。
押すごとにディスクに記録されている字幕言語が切りかわる。また字幕をOFFにする。

Memo

- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切り換えができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- 電源投入時 / ディスク交換時は初期設定（50ページ）で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。

- ディスクメニューからの切り換え
ディスクによって異なりますが、音声言語、アングル、サブタイトルをディスクメニューから切り換えることができます。
- 1 リモコンの「MENU」を押してメニューを表示させ、項目を選び「ENT.」を押す。
 - 2 リモコンの「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して言語またはアングルを選び「ENT.」を押す。（ディスクによっては言語またはアングルメニュー表示中に「0～9」で選ぶことができます。）



アングル切り換え（DVDのみ）

複数のアングルで撮影された映像が記録されているDVDでは、再生中にアングル（角度）を切り換えることができます。

- 1 再生中にリモコンの「ANGLE」を押す。
押すごとにディスクに記録されているアングルが切りかわる。

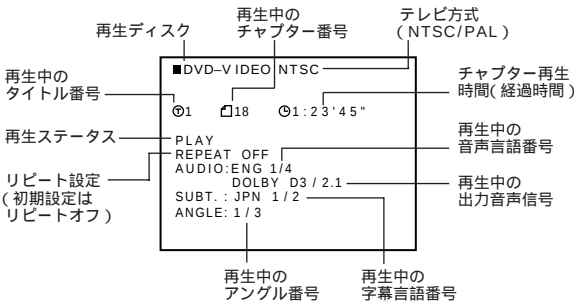
Memo

- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切り換えには2種類あります。
 - ・ シームレス：
つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ・ ノンシームレス：
アングル切り換え時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。

ディスクの使用状態を表示する (DVDのみ)

再生中のDVDビデオディスクの状態 (タイトル番号、チャプター番号など) をモニター画面に表示して確認することができます。

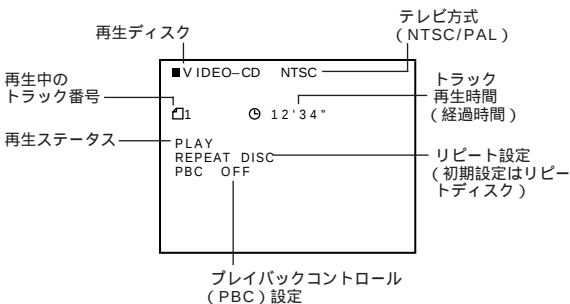
- 1 再生中にリモコンの「DISP/TOP M.」を押す。
再生状態が表示される。
- 2 解除するには、再度「DISP/TOP M.」を押す。



ディスクの使用状態を表示する (ビデオCDのみ)

再生中のビデオCDの状態 (トラック番号など) をモニター画面に表示して確認することができます。

- 1 再生中にリモコンの「DISP/TOP M.」を押す。
再生状態が表示される。
- 2 解除するには、再度「DISP/TOP M.」を押す。

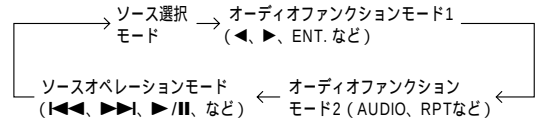


- PBC ONのときは再生中のトラック番号、トラック再生時間は表示されません。

グライドタッチバーからの操作

本体ボタン (グライドタッチバー以外) やリモコンの操作と同様にグライドタッチバーから操作することができます。

- 1 「FUNC.」を押して、希望のモードを選ぶ。



DVDモードのみ

- 2 選んだモードのファンクションガイドが表示される。ファンクションガイド表示に対応したグライドタッチバーの位置を押す。

ソースオペレーションモード

< DVD / ビデオCDモード >

■	再生中止	13ページ
■	再生停止	13ページ
◀◀ / ▶▶	早送り / 早戻し	13ページ
◀◀ / ▶▶	チャプター / トラックの頭出し	13ページ
▶	再生	14ページ
II	静止 (一時停止)	14ページ
◀◀ / ▶▶	コマ送り / 戻し	14ページ
◀◀ / ▶▶	スローモーション	14ページ

オーディオファンクションモード

< DVDモード >

◀/▶/▲/▼/ ENT.	メニュー画面表示時の選択キー。	13ページ
RTN	1つ前の表示に戻る。 (ディスクによっては戻らないものもあります)	

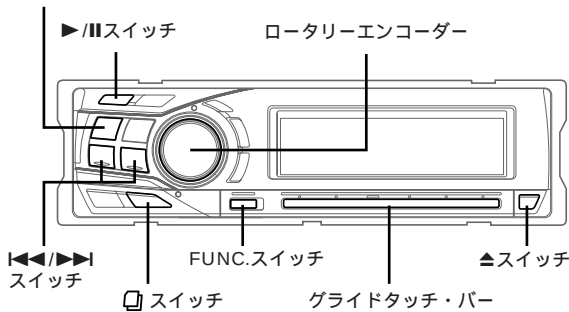


TOP. M	トップメニュー画面の呼び出し	13ページ
MENU	メニュー画面の呼び出し	13ページ
AUDIO	音声言語切りかえ	15ページ
SUBT.	サブタイトル (字幕) 切りかえ	16ページ
ANGLE	アングル切りかえ	16ページ
RPT	チャプター / タイトルリピート再生	15ページ

< ビデオCDモード >

AUDIO	音声出力切りかえ	15ページ
RPT	チャプター / トラックリピート再生	15ページ
PBC	ビデオCD再生モードの設定	54ページ
RTN	1つ前の表示に戻る (ディスクによっては戻らないものもあります)	

SOURCE/POWERスイッチ



CD操作

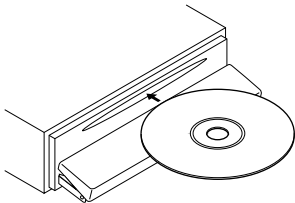
CD (ディスク) を聴く

1 「△」を押して、ディスプレイを開く。

2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、演奏が始まる。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、DISCモードにすると演奏が始まります。

→ DISC → TUNER → CHANGER

(チェンジャー接続時のみ)

- CDテキストが入ったディスクなど、ディスクによっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。
- シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプターは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0 ~ 35) を調整する。

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し ...「◀◀」を押す。
- 早戻し「◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し「▶▶」を押す。
- 早送り「▶▶」を押し続ける。

5 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。

6 ディスクを取り出すときは、「△」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

7 開いたディスプレイを戻すには「△」を押す。



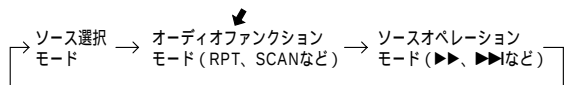
Memo

- ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- 「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り/早戻し、再生/一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



2 「グライドタッチ・バー」の (SCAN) にタッチしてSCANを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

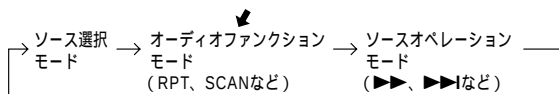
曲が約10秒間ずつ演奏される。

3 聴きたい曲が見つかったら手順1、2の操作を行い、再度SCANを選ぶ。
SCANは解除され、その曲の演奏を続ける。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



- 2 「グライドタッチ・バー」の (M.I.X.) にタッチして M.I.X.モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
順不同に曲を演奏する。



- 1 M.I.X. ALL 対応チェンジャーモード時 (MP3対応チェンジャーはM.I.X. ALLに対応していません)
- 2 内蔵CDモード時は、RPT (with circle and dot) と表示されます。

- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、M.I.X. OFFを選ぶ。

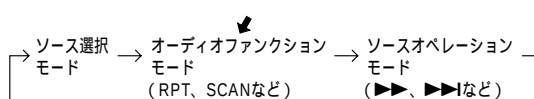


- チェンジャーモード時
 - ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
 - ・「M.I.X. (with circle and dot)」(M.I.X. ALL) を指定すれば、1曲ずつディスクを変えながら演奏します。(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ)
 - ・「RPT (with circle and dot)」(REPEAT ALL) 演奏中に「M.I.X.」を指定すれば、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



- 2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチして RPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲を繰り返し演奏する。



(チェンジャーモード時)

- 3 内蔵CDモード時：
解除するには手順1、2の操作を行い、REPEAT DISC ONを選ぶ。

チェンジャーモード時：

解除するには手順1、2の操作を行い、REPEAT OFFを選ぶ。



- チェンジャーモード時
 - ・「RPT (with circle and dot)」(REPEAT ALL) を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
 - ・M.I.X.演奏中にREPEATモードをONにすると、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

- ファンクションモードは10秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチすると前回呼び出したファンクションモードを呼び出すことができます。



CDテキストから探す

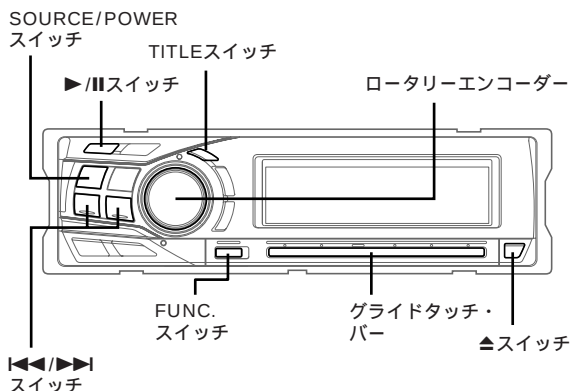
CDテキストから曲（トラック）を検索し演奏させることができます。テキスト未対応のディスク／チェンジャーの場合は、トラックNo.から検索できます。

- 1 演奏中に「」を押す。
サーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望の曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだ曲を演奏する。



Memo

- サーチモード中に「」を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して曲を送ることができます。
- M.I.X.演奏中にテキストサーチはできません。



MP3/WMA操作

本機内蔵のプレーヤーでMP3/WMA再生が行えます。

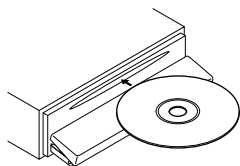
MP3/WMAを聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは「MP3/WMAについて」(87ページ)を参照してください。尚、DRM(著作権管理 Digital Rights Management)システムのWMAファイルは再生できません。

- 1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 MP3/WMAファイルが収録されたディスクを挿入する。
MP3/WMAファイルを検索し、演奏が始まる。
 - MP3/WMAのディスクは、記録の状態によっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



Memo

- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、DISCモードにすると演奏が始まります。

→ DISC → TUNER → CHANGER
(チェンジャー接続時のみ)

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0~35)を調整する。

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲(ファイル)を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し ...「◀◀」を押す。
- 早戻し「◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し「▶▶」を押す。
- 早送り「▶▶」を押し続ける。

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/III」を押す。
再度「▶/III」を押すと、演奏が再開する。

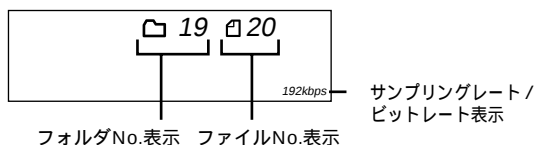
- 6 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

- 7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。

Memo

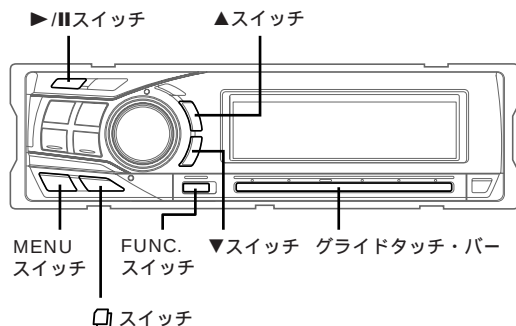
- ディスプレイが開いた状態で30秒たつと、警告ブザーが鳴ります。
- MP3/WMAの演奏時に「TITLE」を押すと、ファイル名、フォルダ名、タグ情報などを表示させることができます。
詳しくは、「テキストを表示する」(27ページ)を参照してください。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- CDオーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。
- 作成したライティングソフト・MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試してください。
- 本機とHDA-5460MS / HDA-5465MS、またはMDA-5060MS / MDA-5065MSを接続した場合、本機から一部の操作(ソース切り替え、ファイルのアップダウン等)が可能です。
- 「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り/早戻し、再生/一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。
- VBR(Variable Bit Rate)で記録されたファイルを再生したとき、正確な再生時間を表示できない場合があります。

- MP3/WMA再生時の表示について



サンプリングレート(kHz)とビットレート(kbps)を交互に表示します。ただし、WMAのVBR(可変ビットレート)ファイルは、平均ビットレート表示になります。

- フォルダNo.の表示はルートフォルダを1とするため、ルートフォルダにファイルがない場合、最初のフォルダは2以降のフォルダNo.表示となります。



フォルダを選択する

- 1 「▲」または「▼」を押して、前後のフォルダを選ぶ。
「▲」または「▼」を押し続けると、フォルダを連続でかえることができます。

フォルダ / ファイルサーチ

ディスク内のフォルダ、またはファイルを探索し演奏させることができます。

- 1 MP3/WMA演奏中に「□」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてサーチモードを選ぶ。
フォルダサーチモード ←→ ファイルサーチモード
フォルダサーチモード：
ディスク内のすべてのフォルダから希望のフォルダを検索します。
ファイルサーチモード：
ディスク内の全ファイルまたはフォルダサーチで選んだフォルダからファイルを検索します。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだサーチモードになる。
 - フォルダサーチ
 - 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいフォルダを選び、「▶/||」を押す。
選んだフォルダの先頭のファイルを演奏する。
選んだフォルダの曲を検索するには、演奏させたいフォルダを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、ファイルサーチモードに切りかえる。以降の操作は、「ファイルサーチ」を参照。
 - ファイルサーチ
 - 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいファイルを選ぶ。
 - 5 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだファイルを演奏する。



Memo

- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- サーチ中に「□」を押すと1つ前のモードに戻ります。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してフォルダまたはファイルを送ることができます。
- MIX演奏中にフォルダ / ファイルサーチはできません。
- フォルダサーチモードで選んだフォルダにファイルがない場合は「NO FILE」と2秒間表示します。
- フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示されます。

MP3/WMA再生データの設定

オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスク使用時、オーディオデータ (CD-DA) のみを再生するか、MP3/WMAのみを再生するか (MP3/WMA) を設定することができます。工場出荷時の設定は「CD-DA」です。

この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。

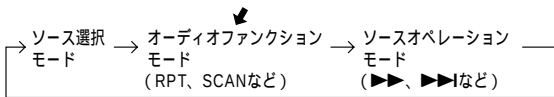
(MP3対応チェンジャーの場合、本設定はできません)

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてPLAY MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (CD-DA) または (MP3/WMA) にタッチしてDISC選曲範囲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。

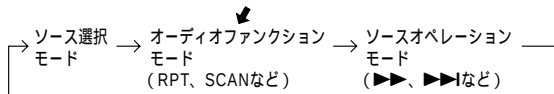


- 2 「グライドタッチ・バー」の (SCAN) にタッチしてSCANを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。
- 3 聴きたい曲が見つかったら手順1、2の操作を行い、再度SCANを選ぶ。
SCANは解除され、その曲の演奏を続ける。

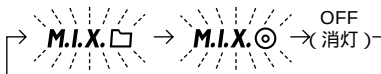
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



- 2 「グライドタッチ・バー」の (M.I.X.) にタッチしてM.I.X.モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
順不同に曲を演奏する。



M.I.X. □ : フォルダ内のみを対象に順不同に演奏する。

M.I.X. ⊙ : ディスク内の曲を順不同に演奏する。チェンジャーモード時はディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していく。

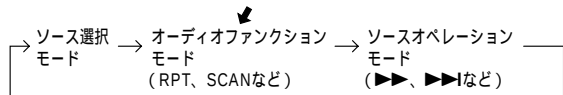
内蔵MP3/WMAモード時は、RPT ⊙ と表示されます。

- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、M.I.X. OFFを選ぶ。

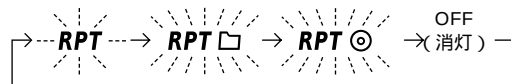
繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



- 2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチしてRPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲を繰り返し演奏する。



(チェンジャーモード時)

RPT : 1曲のみを繰り返し演奏する。

RPT □ : フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏する。

RPT ⊙ : そのディスクを繰り返し演奏する。

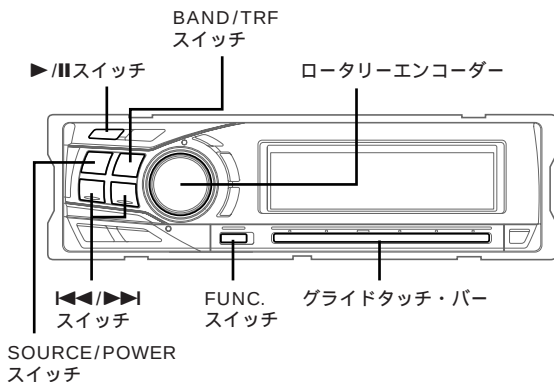
- 3 内蔵MP3/WMAモード時:
解除するには手順1、2の操作を行い、REPEAT DISC ONを選ぶ。

チェンジャーモード時:

解除するには手順1、2の操作を行い、REPEAT OFFを選ぶ。

- ファンクションモードは10秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチすると前回呼び出したファンクションモードを呼び出すことができます。
- RPT □ モード時に、ファイルUP/DN操作を行うと、他のフォルダ内の曲をくり返し演奏します。



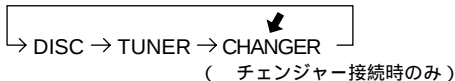


チェンジャー操作

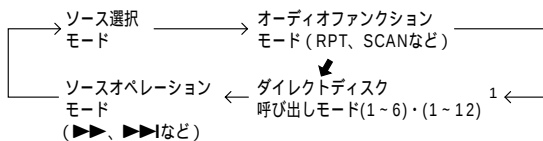
(チェンジャーを接続すると、本機から操作できます。)

チェンジャーでMD/CDを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、CHANGERモードにする。



- 2 「FUNC.」を押して、ダイレクトディスク呼び出しモードにする。



1 12連奏チェンジャー接続時のみ (12連奏チェンジャーCHA-1214/CHA-1204は現在発売されていません)

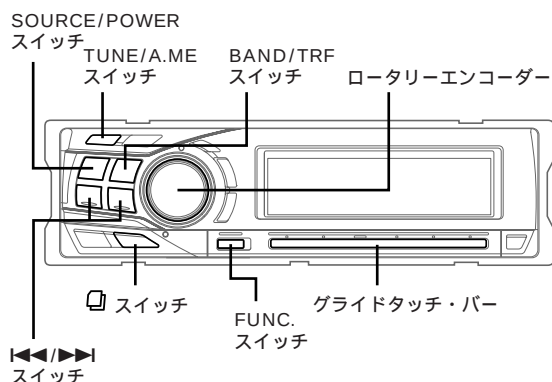


- 3 「グライドタッチ・バー」の1～12のいずれかを押す。
- 4 「1<||>2」または「2<||>1」を押して、聴きたい曲を選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0～35) を調整する。
- 6 演奏を一時停止するときは、「1<||>2」を押す。再度「1<||>2」を押すと、演奏が再開する。



Memo

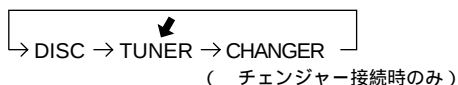
- 曲の早送り / 早戻しをするには、「2<||>1」または「1<||>2」を押し続けます。
- MP3対応チェンジャーを接続した場合、内蔵MP3と同様に操作することができます。
- チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く / 曲順を変えて聴く / 繰り返し聴くなど」については、CD操作 (18～20ページ) MP3/WMA操作 (21～23ページ) を参照してください。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーを2台接続している場合は、「BAND/TRF」を押してCHANGER-1 / CHANGER-2を切りかえます。
- 「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り / 早戻し、再生 / 一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。



ラジオ操作

ラジオを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)



- 2 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。



- 3 「TUNE/A.ME」を押して、チューニングモードを選ぶ。



- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
- ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
- マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

- 4 「<<」または「>>」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。
押し続けると連続で周波数が切りかわる。

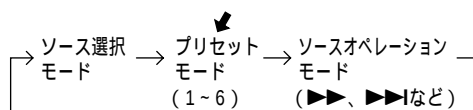
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0~35)を調整する。



- 「グライドタッチ・バー」操作で選局、プリセット呼び出しの操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「FUNC.」を押して、プリセットモードにする。



- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号(1~6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押す。
押された番号に、放送局が記憶される。



- 放送局は18局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局
- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND/TRF」を押して受信したいバンドを表示させる。



- 2 「TUNE/A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



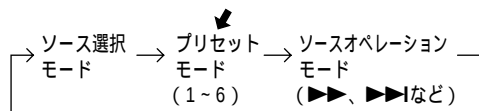
- 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。

→ FM-1 → FM-2 → AM

- 2 「FUNC.」を押して、プリセットモードにする。



- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
選択した放送局が受信される。

FM-1 Pre 3 88.1MHz

プリセットNo.表示
（「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。）

ディスプレイに＜STインジケータ＞が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。
（AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。）



道路交通情報を受信する TRF（トラフィックインフォメーション）

- 1 「BAND/TRF」を2秒以上押す。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。
- 2 「◀◀」または「▶▶I」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。
- 3 解除するには、再度「BAND/TRF」を2秒以上押す。



- CD、チェンジャー、ラジオのいずれを聴いていても、交通情報を受信できます。

周波数から探す

周波数から検索することができます。

- 1 「□」を2秒以上押す。
周波数サーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて希望の周波数を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

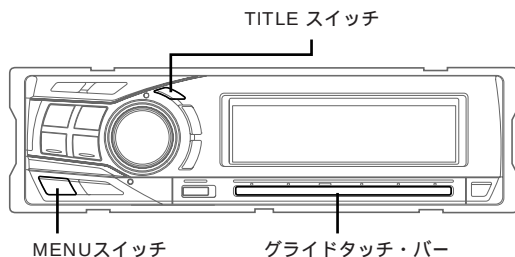


- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して周波数を送ることができます。

- 「MANUAL (マニュアル) モード」のとき、再スクロールを行うには (CD / CDチェンジャーモードのとき)



- 1 CDテキストまたは、フォルダ名、ファイル名、タグ表示のとき、「TITLE」を2秒以上押す。



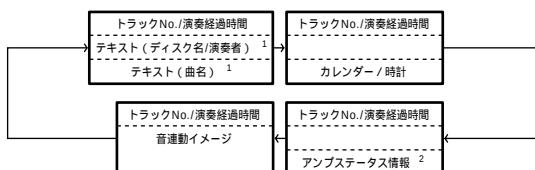
テキストを表示する

CDテキスト対応の音楽CDの演奏中に、ディスク名 / トラック名などを表示させることができます。

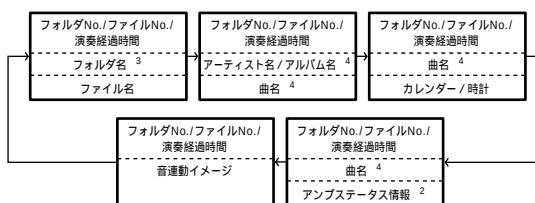
MP3/WMAファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示が可能です。

- 1 「TITLE」を押す。

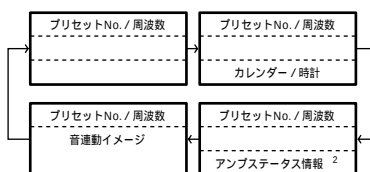
(CDモード表示例)



(MP3/WMAモード表示例)



(ラジオモード表示例)



(DVDモード表示例)



テキスト操作

テキスト / スクロールとは

この説明書で使用する「テキスト」「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

• テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

• テキスト表示一覧

	オーディオデータ		MP3/WMA		ラジオ	
	入力	表示	入力	表示	入力	表示
テキスト	×	○ ¹	×	○ ²	×	×
対応文字	英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字					

1 チェンジャー内のディスク (MP3対応チェンジャーを除く) では、「ひらがな」「漢字」に対応していません。

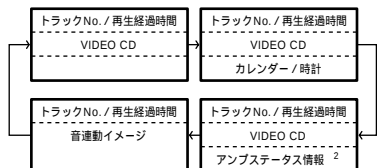
2 ファイル名 / フォルダ名は、ライティングソフトによっては「全角文字」が表示できない場合があります。

- MP3/WMAディスクの場合は、フォルダ名 / ファイル名 / タグ情報の表示ができます。

• スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

(ビデオCDモード表示例)



- 1 CDテキストは半角64文字まで表示可能。
CDテキスト対応チェンジャーの場合は半角64文字まで表示可能。
CDテキストが入っていない場合は「NO TEXT」と表示される。
- 2 別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ表示可能。
- 3 フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示される。
- 4 MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される(半角30文字(WMAは半角15文字)まで)。その他の情報や表示可能な文字数を超えた情報は表示されない。タグ情報がない場合は「NO DATA」と表示される。



- CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。
- 「タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」「ルートフォルダ」については87ページの用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を超えた情報は表示されません。
- テレビなどの外部音声を取り込んでいる時(INTERRUPT表示中)は、「TITLE」を押して時刻を表示させることができます。
- 本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。

スクロールの設定

テキストのスクロール方法を設定することができます。
工場出荷時の設定は「MANUAL」です。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTEXT SCROLLを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- 5 「グライドタッチ・バー」の(AUTO)または(MANUAL)にタッチしてスクロールの設定を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

AUTO: 繰り返しスクロール表示を続けます。
MANUAL: 1度だけスクロール表示します。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

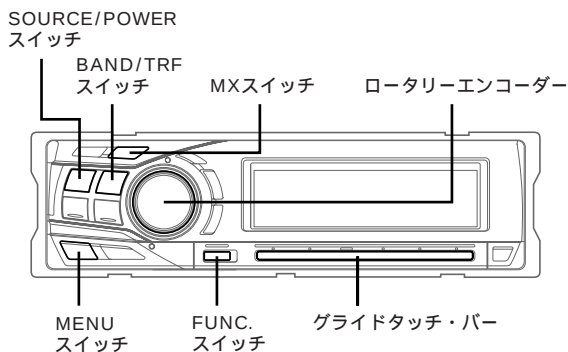


- スクロールするのは、CDテキスト/フォルダ名/ファイル名/タグ情報のみです。

スクロールタイプの設定

テキストスクロールのスクロールタイプを設定することができます。工場出荷時の設定は「TYPE1」です。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSCROLL TYPEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(TYPE1)または(TYPE2)にタッチしてスクロールタイプを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



サウンド調整

MXモードの設定

MX (Media Xpander) は、FMラジオ/CD/MP3など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 「MX」を押して、MX ONモードを選ぶ。

MX ON ←→ MX OFF

2 「MX」を2秒以上押して、MX選択モードを呼び出す。

3 60秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて好みのモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- ・OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。
- ・現在選んでいる音楽ソース (FMラジオ/CDなど) についてのレベルを調整できる。

FM : MXレベル1 ~ 3、OFF (Non Effect)

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD : MXレベル1 ~ 3、OFF (Non Effect)

情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

CMPM(MP3/WMA/MGMS/iPodなど)/MD : MXレベル1 ~ 3、OFF (Non Effect)

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD(Video CD) : MOVIE (MXレベル1 ~ 2) MUSIC、OFF (Non Effect)

- ・MOVIE (MXレベル1 ~ 2) : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。
- ・MUSIC : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

AUX : CMPM、MOVIE、MUSIC、OFF (Non Effect)

接続するメディアに対応したMXモード (CMPM、MOVIE、MUSIC) が選べる。



Memo

- ・MXレベルは1 ~ 3の順に効果が大きくなります。
 - ・ディフューズ (10ページ) がONのときは、操作を受け付けません。
 - ・FMラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。(AMラジオはMXを設定できません。)
 - ・MP3/WMA / CD-DA混在ディスク再生時「MP3 / WMA → CD-DA」、「CD-DA → MP3 / WMA」に曲が切りかわったときは、MXモードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。
 - ・手順1の操作で、MX OFFに設定すると全ての音楽ソースが「MX OFF」となります。
 - ・MX運動機能を持つオーディオプロセッサー製品 (PKG-H701Sなど) と組み合わせた場合、オーディオプロセッサー側のMX内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサー側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサー側の取扱説明書をご覧ください。
- その他のオーディオプロセッサーと組み合わせた場合は、連動できません。

- ・外部オーディオプロセッサーと接続している場合は、「外部オーディオプロセッサーの操作 (オプション)」(56ページ ~ 65ページ) をご覧ください。



X-OVERとは

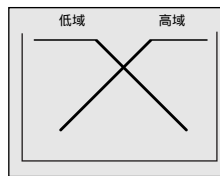
本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF（ハイパスフィルター）LPF（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）レベルを設定します。

接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

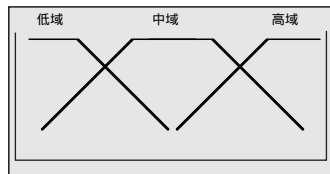
また、「知っておきたい豆知識」（88ページ）も合わせてご覧ください。

2Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



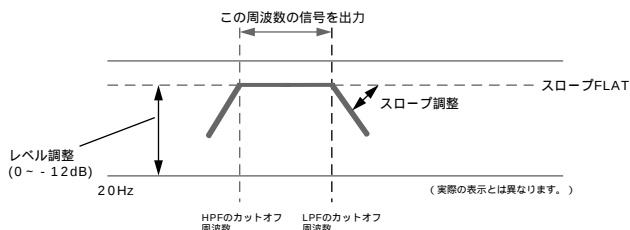
(実際の表示とは異なります。)

3Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	1kHz ~ 20kHz	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz ~ 20kHz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



(実際の表示とは異なります。)

1 「ツイーター設定」（45ページ）をUSER'Sに設定した場合のみ



- HPF（ハイパスフィルター）はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF（ローパスフィルター）はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。

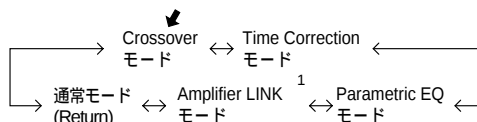


- スロープとは周波数が1オクターブ高くなるとは低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいくほど傾きは急になります。
- スロープをFLAT(OFF)にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。
- ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内でHPFとLPFの周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPFとLPFの周波数を超える調整はできません。

X-OVERの調整と記憶／呼び出し

ここでは、X-OVERの調整手順を説明します。操作の前に、「X-OVERとは」(30ページ)や「知っておきたい豆知識」(88ページ)を参照してください。

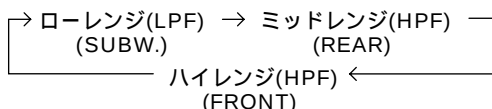
- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCrossover (X-OVER) モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



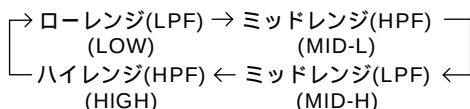
1 Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005 / MRD-M605 など) 接続時のみ

- 3 「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。

2Wayシステム



3Wayシステム



- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望のカットオフ周波数 (クロスオーバーポイント) を選ぶ。

2Wayシステム

各チャンネルは20Hz～200Hz (1/3オクターブステップ) の周波数を選択できる。

3Wayシステム

ローレンジ(LPF) / ミッドレンジ(HPF)は20Hz～200Hz (1/3オクターブステップ)
ミッドレンジ(LPF) / ハイレンジ(HPF)は1kHz～20kHz (1/3オクターブステップ) の周波数を選択できる。

- 5 「SOURCE/POWER」を押して、スロープを調整する。
調整可能なスロープ
FLAT 1/6dB/12dB/18dB/24dB

1 3Wayモードでのハイレンジ(HPF)は、「ツイーター設定」(45ページ)でUSER'Sに設定した場合にのみ、FLAT設定が可能になります。ただし、FLATに設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて調整してください。本機ではFLATにセットされる場合、メッセージが表示されます。メッセージ表示後、ロータリーエンコーダーを押してFLATに確定してください。設定には細心の注意を払ってください。

- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、出力レベルを調整する。
レベルは-12～0の調整が可能。

- 7 さらに別のバンドを調整するには、手順3～6を繰り返して、すべてのバンドを調整する。

- 8 設定が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。

- 9 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号 (1～6) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。

- 10 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 調整途中で終了させるときは、「MENU」を2秒以上押してください。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。
- 2Wayシステムと3Wayシステムについて本機底面部の3Way/2Way切りかえスイッチと連動しています。(74ページ参照)

3WAY



F/R/Sub-W
(出荷時)

3WAY設定時：
3Wayシステムとして操作可能。

F/R/Sub-W設定時：
2Wayシステムとして操作可能。

- Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

記憶したX-OVERの調整値を呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCrossover (X-OVER) モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号 (1 ~ 6) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容呼び出す。
- 5 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

Factory's EQモード（メーカー設定）を選ぶ

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてFactory's EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、好みのイコライザー特性を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。イコライザー特性のページを切りかえるには、「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方を3秒以上タッチする。

USER1～USER6は、「パラメトリックEQの調整と記憶／呼び出し」または「グラフィックEQの調整と記憶／呼び出し」で記憶したプリセットNo.を呼び出します。
- 4 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- ディフューズ（10ページ）がONの時は、操作を受け付けません。
- Factory と EOモードは微調整はできません。

イコライザーモードの設定

イコライザーモードを9バンドパラメトリックイコライザーにするか9バンドグラフィックイコライザーにするかを設定することができます。工場出荷時の設定は「P.EQ (パラメトリックEQ)」です。

- 1** 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。

- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セッアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセッアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてEQ MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（P.EQ）または（G.EQ）にタッチしてEQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

P.EQ：9Band パラメトリックEQ 工場出荷時の設定
G.EQ：9Band グラフィックEQ

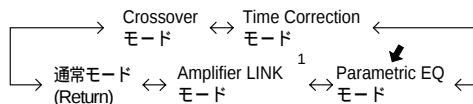
- 6** 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

パラメトリックEQの調整と記憶 / 呼び出し

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効なのです。

「周波数帯域と音質について」(89ページ)も調整の際の参考にしてください。パラメトリックEQを調整するには、EQ MODE設定をP.EQにしてください。詳しくは、「イコライザーモードの設定」(同ページ)を参照してください。

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてParametric EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- 1 Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005 / MRD-M605 など) 接続時のみ

- ### 3 「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。

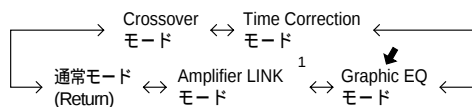
→ BAND1 → BAND2 → BAND9 →

グラフィックEQの調整と記憶／呼び出し

7つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。
グラフィックEQを調整するには、EQ MODE設定をG.EQにしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定」(32ページ)を参照してください。

1 「MENU」を2秒以上押す。

2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGraphic EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



1 Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005 / MRD-M605 など) 接続時のみ

3 「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。



4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。

5 さらに別のバンドを調整するには、手順3～4を繰り返し、すべてのバンドを調整する。

6 設定が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。

7 「グライドタッチ・バー」のプリセット番号(1～6)のいずれか1つにタッチしてプリセット番号を確認し、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。

8 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、周波数を選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
- 6 「SOURCE/POWER」を押して、バンド幅(Q)を設定する。
- 7 さらに別のバンドを調整するには、手順3～6を繰り返し、すべてのバンドを調整する。
- 8 設定が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 9 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号(1～6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。
- 10 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

記憶した調整内容を呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてParametric EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号(1～6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容を呼び出す。
- 5 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 調整途中で終了させるときは、「MENU」を2秒以上押してください。
- デフォルト(10ページ)がONの時は、操作を受け付けません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

記憶した調整内容呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGraphic EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容呼び出す。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。

タイムコレクション（時間補正）について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正值の算出方法について説明します。また、「タイムコレクション（時間補正）の時間差表」（89ページ）も合わせてご覧ください。

- 1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20℃）で割る。

●具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。

（条件）:

一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

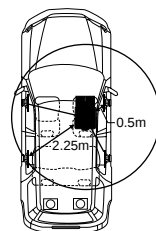
フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

（算出）:

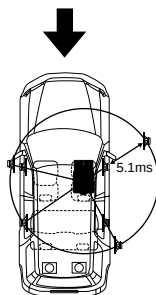
$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1\text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正值に5.1（ms）与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。
右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。

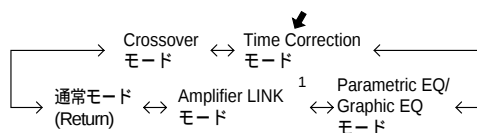


時間補正により到達時間差が解消される。
右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

タイムコレクションの調整と記憶／呼び出し

操作の前に、「タイムコレクション（時間補正）について」（34ページ）や「タイムコレクション（時間補正）の時間差表」（89ページ）を参照してください。また、時間補正値の単位を変更することができます。詳しくは「タイムコレクション調整単位の設定」（同ページ）を参照してください。ここでは初期設定の補正時間（ms）を使用して説明します。

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTime Correctionモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



1 Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M1005 / MRD-M605 など）接続時のみ

- 3 「BAND/TRF」を押して、スピーカーを選ぶ。

→ F-L → F-R → R-L → R-R → SW-L → SW-R

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせる。または「ロータリーエンコーダー」を回転させて、時間補正値（0.0～9.9）を調整する。
- 5 さらに別のスピーカーを調整するには、手順3～4を繰り返す。
- 6 調整が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 7 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。
- 8 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



● Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

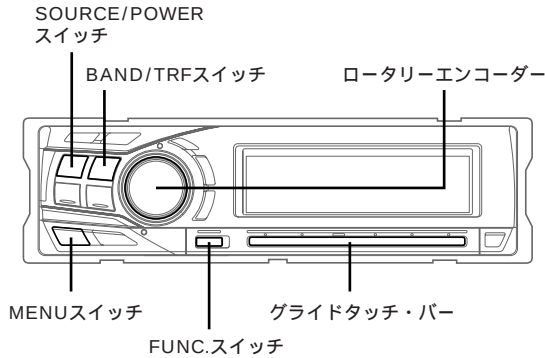
記憶した時間補正値を呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTime Correctionモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容を呼び出す。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

タイムコレクションの調整単位の設定

タイムコレクションの時間補正値の単位をms、cmまたはinchに変更することができます。工場出荷時の設定は「ms」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてT.CORRを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（ms）（cm）または（inch）にタッチして調整単位を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



便利な機能

操作音の切りかえ

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝えます。工場出荷時の設定は「BEEP ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBEEPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)または(OFF)にタッチしてBEEPの設定を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

操作音パターン切りかえ

ボタンを押したときの操作音をお好みに合わせて3タイプから選ぶことができます。
工場出荷時の設定は「TYPE1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSOUND GIDEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(TYPE1～3)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



● 操作音を鳴らしたくない場合は、「操作音の切りかえ」(同ページ)をOFFに設定ください。

照光スイッチの色を切りかえる

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてMulticolor Illumi.モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて色を切りかえる。カラー選択のページを切りかえるには、「グライドタッチ・バー」両端のどちらか一方を3秒以上タッチする。
BLUE ⇔ GREEN ⇔ AMBER ⇔ RED ⇔ (USER1~6)

- 4 「SOURCE/POWER」を押して確定する。
2 lit Illuminationモードに切りかわる。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて本機の照光部全体の色を選ぶ。
BLUE ⇄ RED ⇄ AUTO
- 6 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して確定する。
- 7 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- AUTO：照光スイッチの色を切りかえると、本機の照光部全体の色を自動で青色（BLUE）または赤色（RED）に切りかえます。
- グライドタッチ・バーは色をかえることはできません。

照光スイッチの色を調整する

- 1 「MENU」を押す。
 - 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、Multicolor Illumi.モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
 - 3 「BAND/TRF」を押す。または「ロータリーエンコーダー」を回転させて色（1～512）を調整する。
 - 「BAND/TRF」を押す。
押すごとに30STEPずつ色が変化する。
 - 「ロータリーエンコーダー」を回転させる。
1STEPずつ色が変わる。
- ・目安
1 ---- 19 ---- 184 ---- 363 ---- 512
(赤) (オレンジ) (緑) (青) (赤)
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、調整した内容を記憶させる。
 - 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 記憶した照光スイッチの色を呼び出すには、「照光スイッチの色を切りかえる」(36ページ)でUSER1～6を選んでください。
- 「ロータリーエンコーダー」を回転させて色を調整する際に、ポジションによっては急に色が変わる場合があるかもしれませんが故障ではありません。

動画表示の設定

ディスプレイの背景に表示される動画表示部分をお好みに合わせ4タイプより選ぶことができます。工場出荷時の設定は「TYPE 1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBGV SELECTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてお好みのパターンを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

OFF/ TYPE 1/ TYPE 2/ TYPE 3/ TYPE 4
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

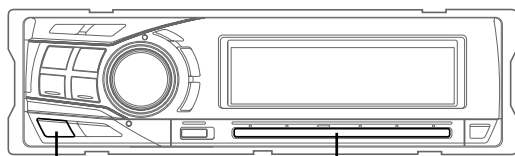
ディスプレイ表示部をOFFにする（BLACK OUT機能）

ディスプレイ表示部を消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

- 1 「FUNC.」を2秒以上押す。
ディスプレイ表示部が消える。
- 2 解除するには再度、「FUNC.」を2秒以上押す。



- ディスプレイ表示部が消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、ディスプレイ表示部を5秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。



MENUスイッチ

グライドタッチ・バー

表示する文字フォントの設定

ディスプレイに表示する文字のタイプを設定できます。工場出荷時の設定は「TYPE1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてFONT SELECTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（TYPE1）または（TYPE2）にタッチして文字タイプを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

ディスプレイの明るさ設定

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、ディスプレイが減光します。「MANUAL」に設定するとヘッドライト点灯に関係なく、ディスプレイが減光します。昼間、ディスプレイが明るすぎる場合には「MANUAL」にすることをお勧めします。工場出荷時の設定は「AUTO」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDIMMERを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（AUTO）または（MANUAL）にタッチしてDIMMERの設定を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

AUTO： ヘッドライト点灯時にディスプレイが減光し、「ディスプレイの明るさレベルの調整」（39ページ）で調整した明るさのレベルが反映される。

MANUAL： ヘッドライト点灯に関係なくディスプレイが減光し、「ディスプレイの明るさレベルの調整」（39ページ）で調整した明るさのレベルが反映される。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。
- 「MANUAL」に設定すると、ヘッドライトを点灯してもディスプレイの明るさは変わりません。

ディスプレイの明るさレベルの調整

「ディスプレイの明るさ設定」を「AUTO」にしたときの明るさのレベルを3段階で設定できます。レベルが低い方(レベル1)が、ヘッドライトを点灯したときにディスプレイの明るさが明るくなります。工場出荷時の設定は「LEVEL 2」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDIMMER LEVELを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(Level 1) (Level 2) または(Level 3) にタッチして明るさの範囲を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

ディスプレイ色の切り換え

本機のディスプレイ色を本設定で変えることができます。工場出荷時の設定は「OFF」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISPLAYを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISPLAY COLORを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- 5 「グライドタッチ・バー」の(OFF)または(AUTO)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
OFF: フルカラーで表示する。
AUTO: 「照光スイッチの色を切りかえる」(36ページ) で設定した色に連動して文字色などが切りかわる。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

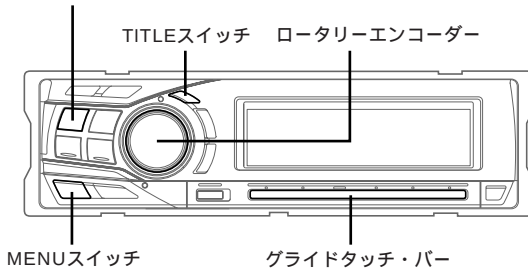
オープニングメッセージのON/OFF

本機には、いくつかのオープニングメッセージが用意されています。例えば、オープニングメッセージをONにした場合、本機の日付が12月25日のときに本機の電源をONにすると、クリスマス用のオープニングメッセージが表示されます。工場出荷時の設定は「OFF」です。カレンダー日付設定については「時刻/カレンダーを設定する」(43ページ) を参照してください。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてOPENING MSGを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)または(OFF)にタッチしてオープニングメッセージの設定を切り換え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

SOURCE/POWER
スイッチ

TITLEスイッチ ロータリーエンコーダー



カレンダー表示パターンの設定

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。工場出荷時の設定は「yyyy/mm/dd」です。カレンダー日付設定については「時刻/カレンダーを設定する」(43ページ)を参照してください。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCALENDARを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(dd/mm/yyyy)または(yyyy/mm/dd)にタッチしてパターンを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

CD録音速度の設定

当社HDD録音機能搭載の2倍速対応製品を接続している場合、CDを録音する際に録音速度を設定することができます。工場出荷時の設定は「×1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてRIPPING TYPEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(×1)または(×2)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
×1：1倍速で録音される。
×2：2倍速で録音される。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

リアDVD機能

- 1 希望のオーディオソースを選ぶ。
- 2 「MENU」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてRear DVDを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせて(ON)または(OFF)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
ONに設定すると：
DVA-9965Jでラジオなどのオーディオソースを聴きながら、フロント用モニターまたはリア用モニターでDVA-9965J内に挿入しているディスクの映像または背景を同時に楽しむことができます。
また、使用するリモコン受光部によって、本体ボタンやリモコンの操作の可否が出てきます。
次の表(41ページ)をご確認の上、操作を行ってください。

SOURCE	REAR DVD ON/OFF設定	リモート入力コード を接続している *1 または 別売のリモコンアイ (KRE-500E) を接 続している状態で のリモコン操作	本機内蔵のリモコ ン受光部を使用し てのリモコン操作	本体ボタンを使用 しての操作
内蔵DISC	ON	内蔵ディスクモ ードをリモコンから 操作することがで きる。	操作できない。	内蔵ディスクモ ードを本体ボタン から操作すること ができる。
	OFF	操作できない。 *2	内蔵ディスクモ ードをリモコンから 操作することがで きる。	内蔵ディスクモ ードを本体ボタン から操作すること ができる。
内蔵 TUNER	ON	内蔵ディスクモ ードをリモコンから 操作することがで きる。	操作できない。	チューナーモード を本体ボタンから 操作することがで きる。
	OFF	操作できない。 *2	チューナーモード をリモコンから操 作することができ る。	チューナーモード を本体ボタンから 操作することがで きる。
Ai-NET 製品 チェン ジャーなど	ON	内蔵ディスクモ ードをリモコンから 操作することがで きる。	操作できない。	外部チェンジャー などをリモコン から操作すること ができる。
	OFF	操作できない。 *2	外部チェンジャー などをリモコン から操作すること ができる。	外部チェンジャー などをリモコン から操作すること ができる。

- *1 接続しているモニター側のリモコン受光部を使用する。
*2 当社のタッチパネル対応モニターを接続（モニターコントロー
ルを接続）し、タッチ操作した場合には、操作することがで
きます。

5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。 通常モードに戻る。



- 接続している拡張ユニット（リアモニターなど）
の音量調整は本機ではできません。拡張ユニ
ット側で音量調整してください。また、ミュ
ート（瞬時に音量を下げる）はできません。
- リアDVD機能の設定をONにした状態では、リア
モニターに外部割り込み（ナビゲーション割
込み音声など）はされません。
- リアDVD機能の設定をONにした状態で、AMラ
ジオを聴いている場合、ラジオ音声にノイズ
が聞こえる場合がありますが故障ではありません。

i-Personalize™データダウンロード

アルパインオーナー専用Webサイト上に車種・システムに合
わせた車室内音響セッティングデータを公開しています。
このデータベースをもとに自在にカスタマイズした音響セッ
ティングデータを、本機にダウンロードすることができます。
詳しくは、ALPINE Webサイトをご覧ください。

● i-Personalize™データダウンロードについて

- ・ アルパインのWebサイトから作成したデータをダウンロ
ードし、CD-Rに保存した後、本機にダウンロードし記憶す
ることができます。

サービスを開始するには下記のURLにアクセスし、画面
上の指示に従って操作してください。

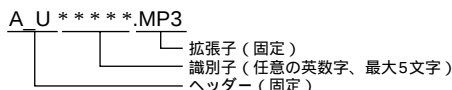
<http://www.alpine.co.jp>

ダウンロードできるデータ

パラメトリックEQまた はグラフィックEQ	パラメトリックEQモードまたはグラフィッ クEQモードのPreset6にメモリーします。
タイムコレクション	タイムコレクションモードのPreset6に メモリーします。
X-OVER	X-OVERモードのPreset6にメモリーし ます。
Profile	オープニングメッセージとして設定されます。
カレンダーメッセージ	カレンダーメッセージとして設定されます。

- ・ ダウンロードデータのファイル名は、

「A_U*****.MP3」とする。



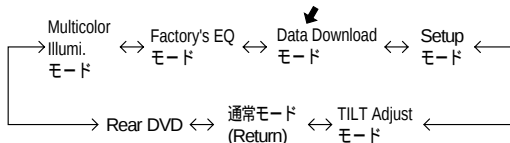
ファイル名はWebサイト上で設定できます。ただし、そ
れ以降に変更はしないでください。動作不良の原因とな
ります。



- ダウンロード手順については、ALPINEの
Webサイトをご覧ください。
- 外部オーディオプロセッサを追加した場
合は、ダウンロードしたデータを使用できません。
- HDA-5460MS/HDA-5465MS、またはMDA-
5060MS/MDA-5065MSと接続した場合は、メ
モリースティック/HDD（HDA-5460MS/HDA-
5465MSのみ）を利用できます。メモリースティ
ック/HDDに転送されたデータを次の「データのダ
ウンロード」の操作で本機にダウンロードします。
手順1でメモリースティック/HDDモードにして
ください。メモリースティック/HDDへのデー
タ転送方法については、HDA-5460MS/HDA-
5465MS/MDA-5060MS/MDA-5065MSの
取扱説明書をご覧ください。

●データのダウンロード

- 1 データが入っているCD-Rディスクを挿入する。
すでにディスクが入っているときは、
「SOURCE/POWER」を押してDISCモードにする。
- 2 「MENU」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDownloadモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



CDモードやMMDRIVERモード (HDA-5460MS/HDA-5465MS/MDA-5060MS/MDA-5065MS接続時のHDDまたはMGMSモード) のみ

- 4 「グライドタッチ・バー」の (Download) にタッチしてそのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
キャンセルする場合は、「CANCEL」を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

ディスク内のデータサーチを開始し、データサーチ終了後に、最初のファイル名が表示される。



- データサーチでファイルが見つからない場合は、「NO FILE」が5秒間表示されます。

- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてダウンロードするファイルを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

データのダウンロードを開始する。

データのダウンロードが正常終了すると確認画面を5秒間表示し、ファイル選択画面に戻ります。

確認画面のチェックボックスにチェックされている項目が正常にダウンロードされたデータを示します。

- EQ : パラメトリックEQまたはグラフィックEQデータ
パラメトリックEQモードまたはグラフィックEQモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
- T.CORR : タイムコレクションデータ
タイムコレクションモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
- X-OVER : X-OVERデータ
X-OVERモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。

- 6 ダウンロードが終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 新たにダウンロードした場合は、上書きでメモリーされます。
- ディフオートONのときにダウンロードした場合、X-OVERなどのサウンド調整は、自動的にPreset6の設定に変更されません。設定したい場合は、ディフオートOFFにして、各モードでPreset6を呼び出してください。
- ダウンロードしたパラメトリックEQまたはグラフィックEQデータと現在のEQモードが合っていない場合、EQ設定は自動的にPreset6の設定に変更されません。設定するには、EQモードを変更しPreset6を呼び出してください。

壁紙ダウンロード

アルパインオーナー専用Webサイトからダウンロードしたファイル (1ファイル) を、CD-R/CD-RWディスクに書き込み、それを本機に挿入することで自動的にアップロードされます。保存した壁紙ファイルは、ディスク未挿入、ディスク映像未再生またはCD/MP3/WMAオーディオを再生中などに、TVモニターに表示することができます。

- ⚠ 注意** ● ディスクに複数ファイルを収納できる場合、本機に保存できるのは一番最初のファイルのみです。

- 1 データが入っているCD-R/CD-RWディスクを挿入する。
ディスクを認識後、本機に保存します。
- 2 壁紙を切りかえるには、停止中にリモコンの「ENT.」を2秒以上押す。

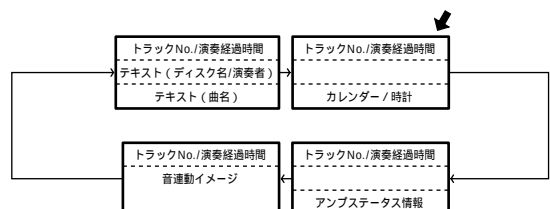


- 2ファイルまで本機に保存できます。3ファイル目をダウンロードした場合、上書きでメモリーされます。
- 壁紙を切りかえるには、ディスク未挿入、ディスクモードでPRE-STOPまたはSTOP中にリモコンの「ENT.」を2秒以上押します。
- バッテリー電源コードを外しても、ダウンロードしたデータは消去されません。

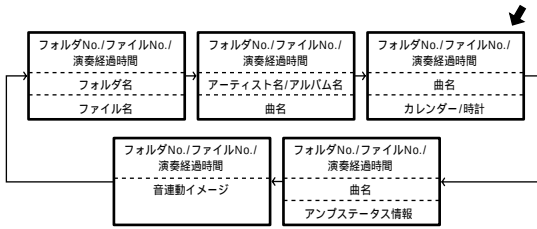
時刻を表示する

- 1 「TITLE」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。

(CDモード表示例)



(MP3/WMAモード表示例)

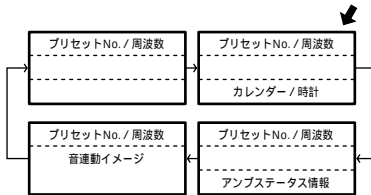


- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCLOCK ADJUSTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて(年)を選ぶ。
- 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「年」を調整する。
- 手順5～6を繰り返し行い「月」、「日」、「時」、「分」を調整する。
- 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。

Memo

- どのモード(CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。
- 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ロータリーエンコーダー」を長く押すと分表示が00となります。「:30」を超えた表示のときにロータリーエンコーダー」を長く押すと「時」は繰り上がります。

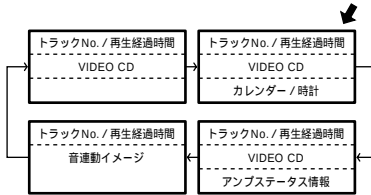
(ラジオモード表示例)



(DVDモード表示例)



(ビデオCDモード表示例)



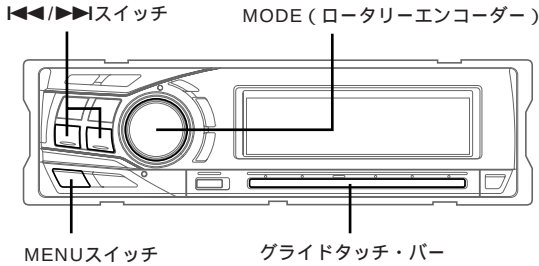
時刻 / カレンダーを設定する

- 「MENU」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。

時刻表示の設定

時刻表示のタイプを設定することができます。工場出荷時の設定は「12 HOUR表示」です。

- 「MENU」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCLOCK MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」の12 HOUR表示または24 HOUR表示にタッチして時刻表示の設定を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。



デモンストレーション機能の設定と解除

本機には、表示と音の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。工場出荷時の設定は「DEMO OFF」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDEMOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」の(ON)にタッチしてDEMO ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DEMO OFFにする場合は、(OFF)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
デモンストレーションモードになり、音と表示の演出のみの動作を自動的に行う。

デモンストレーションをご使用になったときは、DEMO OFFに設定しないかぎりデモンストレーションモードは解除されません。

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

外部サブウーハーを接続するときに設定します。工場出荷時の設定は「SUBWOOFER ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSUBWOOFERを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)にタッチしてSUBWOOFER ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
SUBWOOFER OFFにする場合は、(OFF)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
- 7 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押してSUBWOOFERモードを選ぶ。

↓
→ SUBWOOFER → BALANCE → FADER → DEFEAT → VOLUME →



- SUBWOOFERを選んだ後、「I<=>」または「▶▶」を押すと、サブウーハー出力の位相(NORMAL(0°)/REVERS(180°))を切りかえることができます。
お好みの音が得られる方を選んでください。

- 8 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0~+15)を調整する。



- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。

ツイーター設定

「X-OVERの調整と記憶／呼び出し」(31ページ参照)において、3Wayモード時のハイレンジスピーカー (HPF) のスロープ設定でFLAT設定を可能にできます。ただし、FLATに設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて設定してください。工場出荷時の設定は「MAKER'S」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTW SETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (MAKER'S) または (USER'S) にタッチしてTW SETUPを切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

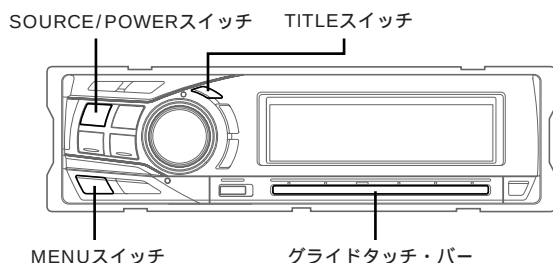
MAKER'S : ツイーター保護のため、3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLATに設定できません。

USER'S : 3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLAT設定ができます。設定には細心の注意を払ってください。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLATにセットされる場合、メッセージが表示されます。
- 3WAY / 2WAY切りかえスイッチ (74ページ) が3WAYに設定されている場合のみTW SETUPモードを選択することができます。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は設定できません。



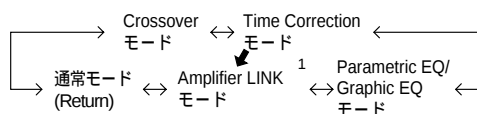
AMPを呼び出して調整する

別売のAmplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など)接続時、アンプの設定をヘッドユニットから行うことができます。最大8台までのアンプの設定が可能です。



- ヘッドユニット側でアンプを調整中に、アンプ側で調整モードを変更しないでください。ヘッドユニットとアンプで調整モードがずれることがあります。

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAmplifier Linkモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



1 Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005 / MRD-M605 など) 接続時のみ

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、調整したいAMP1～AMP8を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
入力レベル調整モードになる。

• MONOアンプ接続の場合

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて入力レベルを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して確定する。

• 4ch アンプ接続の場合

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCH1/2の入力レベルを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して確定する。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCH3/4の入力レベルを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して確定する。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

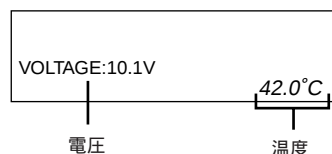


- 設定項目の詳細については、Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など) の取扱説明書をご覧ください。
- アンプ接続後にアンプを取り外したり、アンプの電源が入らない場合などは、「No Link」と表示されます。
- 複数のアンプと接続している場合は、アンプ側のIDを別々のIDに設定し直してください。表示がちらついて表示されることがあります。
- 入力レベル調整中に「TITLE」を押すと、アンプステータス情報を表示できます。
- 入力レベル調整時に「グライドタッチ・バー」を2秒以上押すと、アンプレベル調整を行えなくすることができます。再度、アンプレベル調整を行う場合は、「グライドタッチ・バー」を2秒以上押してください。

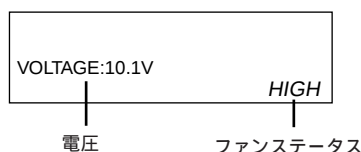
外部アンプの情報を表示させる

Amplifier LINK対応の外部アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など)を接続している場合、外部アンプの情報 (電圧、温度など) をヘッドユニットに表示できます。

- 1 「TITLE」を押してアンプステータス情報を表示させる。(27ページ参照)



温度とファンステータスを交互に表示します。



AMPの温度表示切りかえ

別売のAmplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など)を接続している場合、温度表示を摂氏(°C)、または華氏(°F)に切りかえることができます。工場出荷時の設定は「°C」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてA-LINK TEMPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(°F)または(°C)にタッチして温度表示を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

外部入力の設定

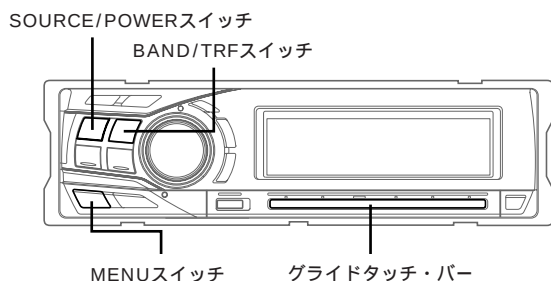
別売のAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。工場出荷時の設定は「AUX IN OFF」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUX INを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)にタッチしてAUX IN ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- AUX INをONにした後に「グライドタッチ・バー」で、(AUX NAME)を選び「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUXモード時の「表示」を設定することができます。例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
- 7 「SOURCE/POWER」を押して、AUX (外部入力) モードを選び、音量などを調整する。



外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。工場出荷時の設定は「AUX IN OFF」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUX INを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (ON) にタッチしてAUX IN ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



• AUX INをONにした後に「グライドタッチ・バー」で、(AUX1 NAMEまたはAUX2 NAME) を選び「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
- 7 「SOURCE/POWER」を押してAUX (外部入力) モードを選ぶ。

デジタルアウトの設定

他社の光デジタル対応オーディオプロセッサと接続した場合、「ON」に設定してください。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてOPTICAL OUTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (ON) または(OFF)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。その後、一度ACCをOFFにしてから再度ACC ONにしてください。デジタルアウトの設定が確定されます。

光デジタル対応オーディオプロセッサを接続する

当社の光デジタル対応オーディオプロセッサと接続した場合は本設定を行ってください。工場出荷時の設定は「OTHERS」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAP SELECTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- 5 「グライドタッチ・バー」の(H510)または(OTHERS)にタッチして外部オーディオプロセッサの入力を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

H510 : PXA-H510を光ケーブルで接続した場合に設定する。PXA-H510の光デジタル入力端子は、DVD用へ接続する。

OTHERS : PXA-H510以外の光デジタル対応オーディオプロセッサを光ケーブルで接続した場合に設定する。オーディオプロセッサ側の光デジタル入力端子は、ヘッドユニット用へ接続する。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 設定終了後、一度ACCをOFFにしてから再度ACC ONにしてください。光デジタル入力切りかえの設定が確定されます。

外部割り込み時のディフイート設定

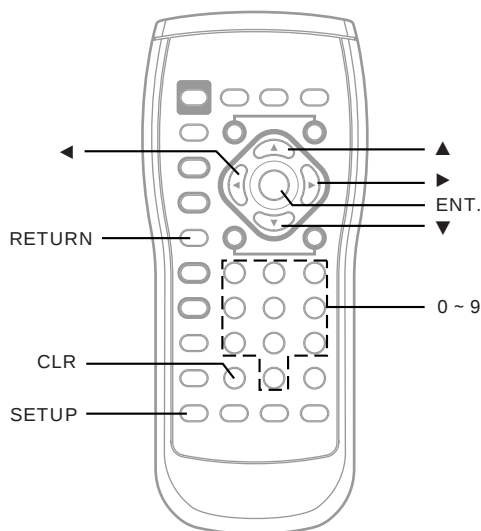
外部割り込みした音声に対し、本機のEQ/MXをディフイートさせて出力させます。工場出荷時の設定は「INT AUDIO OFF」です。(ディフイート：EQを初期値、MXをOFFにします。)

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてINT AUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)にタッチしてINT AUDIO ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

外部割り込みモードの設定

別売のAi割り込みBOX (NVE-K200) /Versatile Link Terminal (KCA-410C) /Ai-RCA変換ケーブル (KCA-121B) などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。工場出荷時の設定は「INT MUTE ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSetupを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてINT MUTEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(OFF)にタッチしてINT MUTE OFFを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



DVDの初期設定 (SETUP)



- DVDの初期設定はリモコンでのみの操作となります。
- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。車のバッテリー電源をはずした場合、設定内容は消去され工場出荷時の設定内容に戻ります。

言語設定を変更する

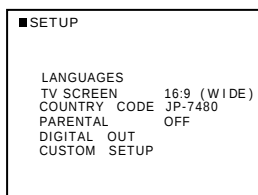
音声言語、字幕言語、メニュー言語をお好みに合わせ設定することができます。

設定された言語は固定され、常時日本語で聴きたい場合に便利です(ディスクによっては、設定した言語がない場合があります。その場合は、そのディスクの優先言語になります)。



- 一時的に今観ているディスクの言語をかえたい場合は、DVDメニューからかえるか、または「音声言語切り替え」(15ページ)でかえることができます。
- ディスクが入っている状態で設定を変更した場合は、下記のいずれかを行うと設定が確定されます。
 - ・ 電源をOFFにする
 - ・ ソースを切りかえる

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してLANGUAGESを選び、「ENT.」を押す。言語設定画面が表示される。

- 3 「▲」または「▼」を押して設定項目を選び、「ENT.」を押す。

AUDIO

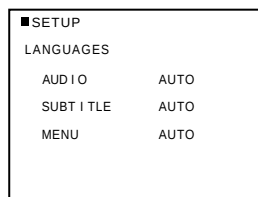
スピーカーから出力される音声言語が設定できる。

SUBTITLE

画面に表示される字幕言語が設定できる。

MENU

タイトルメニューなどのメニュー言語が設定できる。



- 4 「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して設定したい言語を選び、「ENT.」を押す。

音声言語、字幕言語、メニュー言語の設定言語

AUTO ¹ / ENGLISH / JAPANESE / GERMAN / SPANISH / FRENCH / ITALIAN / PORTUGUESE / RUSSIAN / CHINESE / OTHER ²

1 AUTO

AUTO : ディスクに記録されている最優先の音声言語または字幕言語で再生される。

2 OTHER

OTHER : 表示されている以外の言語で再生したいときに設定する。「ENT.」を押してから「0」～「9」キーで4桁の言語番号を入力し、「ENT.」を押す。言語番号は「言語コード表」(85ページ)を参照。



- 選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。
- 各言語の工場出荷時の設定。
 - 音声言語 : AUTO
 - 字幕言語 : AUTO
 - メニュー言語 : AUTO
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

TVスクリーン設定を変更する

お使いのTVモニターに合わせて、画面の比率（アスペクト比）を設定します。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してTV SCREENを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してスクリーンタイプを選び、「ENT.」を押す。
16 : 9 (WIDE) / 4 : 3 (LB) / 4 : 3 (PS)

16 : 9 WIDE

ワイドテレビに接続したときに選ぶ。工場出荷時は16 : 9。



4 : 3 LB (LETTER BOX)

従来サイズの4 : 3のモニターに接続したときに選ぶ。アスペクト比16 : 9の映像を再生した場合は、上下に黒帯が入る。



4 : 3 PS (PAN-SCAN)

従来サイズの4 : 3のモニターに接続した時に選ぶ。画面全体に表示する。（アスペクト比16 : 9の映像を再生した場合は、左右が切れる）



Memo

- ディスクによっては設定した画面サイズにならない場合があります（詳しくはディスクのジャケットに記載されている内容をご覧ください）。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

カントリーコード設定を変更する

視聴規制（パレンタルロック）を設定する時の、設定したい規制レベルの国番号を設定します。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
 - 2 「▲」または「▼」を押してCOUNTRY CODEを選び、「ENT.」を押す。
カントリーコードがリセットされる。
- COUNTRY CODE - - - -
- 3 「0」～「9」を押して4桁の数字を入力し、「ENT.」を押す。
日本の国番号は7480（工場出荷時の設定）
アメリカの国番号は8583。

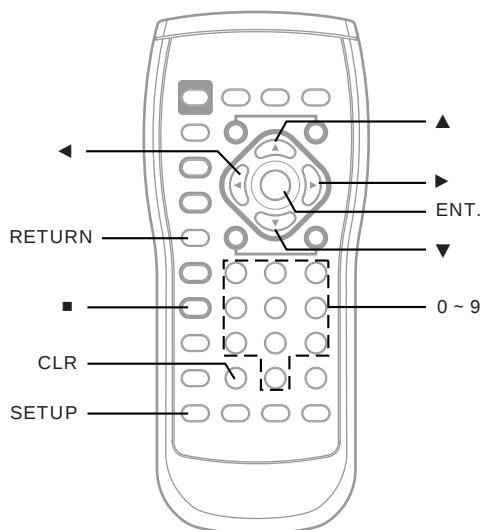
COUNTRY CODE 7 4 8 0



Memo

- 「CLR」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。



視聴規制（パレンタルロック）を設定する

お子様などに見せたくない映像を規制することができます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してPARENTALを選び、「ENT.」を押す。
パスワード入力モードになる。

- 3 「0」～「9」を押して4桁のパスワードを入力し、「ENT.」を押す。

PASS WORD * * * *

入力された数字は*で表示される。

工場出荷時は1111。

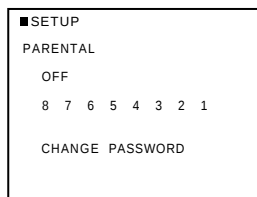
規制レベル（PARENTAL LEVEL）入力画面を表示する。



- 「CLR」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 「▲」「▼」「◀」または「▶」を押して規制レベル値（1～8）を選び、「ENT.」を押す。

規制を解除したいときや、設定しないときはOFFを選ぶ。数字が小さいほど規制レベルは高くなります。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。



- パスワードを変更したい時は、CHANGE PASSWORDを選び新しいパスワード（数字4桁）を入力します。

注）パスワードは忘れないように、メモなどをして保管してください。

- 視聴制限がないDVDでは視聴規制を設定しても再生は制限できません。
- 視聴制限に対応したDVDソフトを視聴制限して再生したい場合には、実際に規制レベルや国番号を変更してお確かめください。
- 設定した視聴規制は保持されます。違うディスクを再生したい時や視聴規制を解除したい場合は、設定を変更してください。

- テンポラリー・パレンタルレベル変更について
ディスクによっては、再生中に初期設定で設定した視聴規制レベル（パレンタルレベル）の変更を要求する場合があります。このとき、モニター画面に“PARENTAL LEVEL CHANGE OK？”と表示します。この表示が出た場合は、下記の操作で設定してください。
- 変更したパレンタルレベルで再生する場合は、「ENT.」を押す。
パスワード入力モードになる。
「視聴規制（パレンタルロック）を設定する」で設定している4桁のパスワードを入力し、「ENT.」を押す
- パレンタルレベルを変更しないで再生する場合は、「■」を押す（「■」を押した場合は、「視聴規制（パレンタルロック）を設定する」で設定したパレンタルレベルで再生されます）。



デジタル出力設定を変更する

本機からの音声を設定します。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してDIGITAL OUTを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押して出力モードを選び、「ENT.」を押す。

DOLBY D

ドルビーデジタル出力の設定ができる。
工場出荷時はLPCM。

DTS

DTS出力の設定ができる。
工場出荷時はLPCM。

MPEG

MPEGオーディオ出力の設定ができる。MPEGオーディオ出力は、設定に関係なく48kHz/16bit (DVD) または44.1kHz (Video CD、CD) のリニアPCM音声に変換して出力する。
工場出荷時はLPCM。

- 4 「▲」または「▼」を押して「BITSTREAM」または「LPCM」を選び、「ENT.」を押す。

BITSTREAM

再生中の音声の記録方式に従いデジタル出力を自動で切りかえる。デジタルオーディオプロセッサと接続し、ドルビーデジタル音声で再生したい時は、必ず、BITSTREAMにする。

LPCM

ディスクに記録されている音声を48kHz/16bit (DVD) または44.1kHz (ビデオCD、CD) のリニアPCM音声に変換して出力する。



- 外部オーディオプロセッサ未接続時は、BITSTREAMに設定すると音が出されません。LPCMに設定してください。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

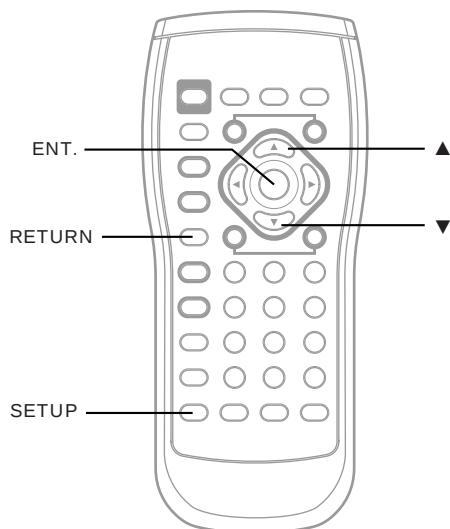
- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

● 音声出力 / 光デジタル音声出力について

ディスク	音声記録方式	デジタル出力設定	光デジタル音声出力 (デジタルオーディオプロセッサ接続時)	アナログ音声出力 (RCA出力)
DVD	DTS	BITSTREAM	DTSエレメンタリ ストリーム	○
		LPCM	LPCMエンコード2chダウンミクス (44.1kHzまたは48kHz/16bit)	○
	ドルビーデジタル	BITSTREAM	ドルビーデジタル	○
		LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	リニアPCM	48kHz/16bit	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/20bit	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/24bit	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/16bit	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/20bit	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/24bit	LPCM (48kHz/16bit)	○
	MPEG2	BITSTREAMまたはLPCM	LPCM (44.1kHzまたは48kHz/16bit)	○
ビデオCD	MPEG1	BITSTREAMまたはLPCM	LPCM (44.1kHz)	○
CD	リニアPCM	BITSTREAMまたはLPCM	LPCM (44.1kHz)	○
	DTS	BITSTREAM	DTSエレメンタリ ストリーム	○
MP3	MPEG-1 Audio Layer3 ビットレート : 32kbps ~ 320kbps	LPCM	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
		32kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
WMA	Windows Media™ Audio ビットレート : 32kbps ~ 320kbps	48kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○
		32kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○



カスタム設定 (CUSTOM SETUP)

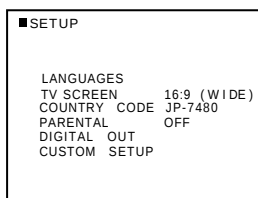


- カスタム設定は、リモコンでのみの操作になります。
- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。車のバッテリー電源をはずした場合、設定内容は消去され工場出荷時の設定内容に戻ります。

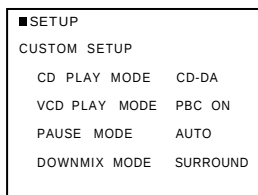
CD再生モードを設定する

ディスク内にMP3ファイルとオーディオデータが混在している場合に、どちらを再生するか設定できます（オーディオデータとMP3データ混在ディスク使用時のみ）。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してCD PLAY MODEを選び、「ENT.」を押す。



- 4 「▲」または「▼」を押してCD-DAあるいはCOMPRESSED AUDIOを選び、「ENT.」を押す。

CD-DA

CDデータのみを再生する。
工場出荷時はCD-DA。

COMPRESSED AUDIO

MP3データのみを再生する。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

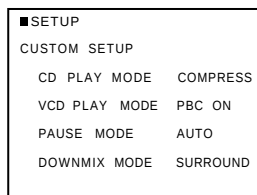


- ディスクがすでに挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。
- MP3対応チェンジャーの場合、本設定はできません。

ビデオCD再生モードを設定する

プレイバックコントロール（PBC）付きのビデオCDを再生する場合に、PBCをONにするかOFFにするかをあらかじめ設定できます。

- 1 ディスク挿入前に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してVCD PLAY MODEを選び、「ENT.」を押す。



- 4 「▲」または「▼」を押してPBC ONあるいはPBC OFFを選び、「ENT.」を押す。

PBC ON

ビデオCDに収録されているメニューを表示し、メニューの操作ができる。
工場出荷時はPBC ON。

PBC OFF

ビデオCDに収録されているメニューは表示できない。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

一時停止時の映像出力を設定する

DVDまたはビデオCDを再生中に一時停止したときの映像出力方法を設定できます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してPAUSE MODEを選び、「ENT.」を押す。

■SETUP	
CUSTOM SETUP	
CD PLAY MODE	COMPRESS
VCD PLAY MODE	PBC ON
PAUSE MODE	AUTO
DOWNMIX MODE	SURROUND

- 4 「▲」または「▼」を押してAUTO、FIELDあるいはFRAMEを選び、「ENT.」を押す。
通常は、AUTO設定でお使いください。どうしてもポーズ中に画面がぶれるような場合は、FIELDまたはFRAMEに設定してください。
工場出荷時はAUTO。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

ダウンミックスを設定する

本機能は、ドルビーデジタル、DTSストリーム音声に有効です。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してDOWNMIX MODEを選び、「ENT.」を押す。

■SETUP	
CUSTOM SETUP	
CD PLAY MODE	COMPRESS
VCD PLAY MODE	PBC ON
PAUSE MODE	AUTO
DOWNMIX MODE	SURROUND

- 4 「▲」または「▼」を押してSTEREOあるいはSURROUND ENCODEDを選び、「ENT.」を押す。

STEREO

ステレオダウンミックス

SURROUND ENCODED

ドルビーサラウンド互換ダウンミックス

工場出荷時はSURROUND ENCODED。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

オーディオプロセッサー

SOURCE/POWERスイッチ

BAND/TRFスイッチ

MXスイッチ

ロータリーエンコーダー

MENU
スイッチ

グライドタッチ・バー

外部オーディオプロセッサーの操作（オプション）

外部オーディオプロセッサーと接続している場合は、本機から操作することができます。但し、接続するオーディオプロセッサーによって、操作できない場合もあります。ここでは、PXA-H700 または PXA-H701 と接続した場合を例に説明します。接続しているオーディオプロセッサー側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- PXA-H510 または PXA-H900 と接続している場合は、一部の操作が本機からできません。その場合は、PXA-H510 または PXA-H900 側で操作を行ってください。
- MRA-D550 と接続している場合は、SPEAKER SELECT、Bass Soundコントロール、グラフィックEQの設定はありません。MRA-F350 と接続している場合は、さらにMXモードの設定もありません。また、設定値については、PXA-H700 または PXA-H701 とは異なります。
- 設定の調整は、車を停止させてから行ってください。
- 接続しているオーディオプロセッサー側で調整/設定を行っているときは、本機から正しく操作することはできません。
- 外部オーディオプロセッサーの設定操作中に約15秒間何も操作を行わなかった場合、A.PROCモードは解除され通常モードに戻ります。
- 本機にはBass Focusの機能はありません。



ドルビーサラウンドの調整手順

ドルビーデジタルやDTSサウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

< 調整手順 >

- 1 **スピーカーセットアップ (P61)**
使用するスピーカーの有無または、特性を設定します。
- 2 **スピーカーレベルを調整する (P61)**
各スピーカーへの信号出力レベルを調整します。
- 3 **リアに低域音声をミキシングする (P62)**
リアスピーカーにフロントの音声信号をミキシングすることで後部座席でも聴きやすくさせることができます。
- 4 **音像を調整する (P62)**
センタースピーカーが真正面にあるように音像を調整します。
- 5 **迫力のある大音量再生を楽しむには (P63)**
必要に応じて、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」を楽しむことができます。
- 6 **DVDレベルを調整する (P63)**
ドルビーデジタル / PRO LOGIC II / DTS / PCMそれぞれのモードでの音量信号レベルを調整します。
- 7 **設定した内容を記憶する (P65)**
上記の内容に限らず本機で設定 / 調整した内容を全て記憶させることができます。

- 自動調整などと組み合わせて使用する場合は、ドルビーサラウンドの調整前に行うことをお勧めします。

スピーカーの設定をする

- 1 ディフェルトがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSpeaker Selectモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせ、各スピーカーを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせスピーカーの種類または(ON)、(OFF)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

FRONT1 : OFF/TW(Tweeter)/FULL(Full Range)*

FRONT2 : OFF/ON

REAR : OFF/ON

CENTER : OFF/ON

SUBWOOFER : OFF/MONO/STEREO

* 「ツィーター設定」(45ページ)でUSER'S設定時に表示。

- 6 他のスピーカー設定をするには、「MENU」を押して1つ前の表示に戻し、手順5をくり返す。
- 7 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 接続していないスピーカーはOFFに設定する。
- 「スピーカーセットアップ」(61ページ)で設定したスピーカーがOFFの状態でも上記設定はできます。
- PXA-H700またはPXA-H701接続時、サブウーハーをMONOで使用する時には、PXA-H700またはPXA-H701側のサブウーハー出力端子へサブウーハーを接続してください。

外部オーディオプロセッサーのMXモードを設定する

PXA-H700接続時は、PXA-H700側のMX (Media Xpander) モードの設定を「AUTO」にしてから下記操作を行ってください。

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「MX」を押して、MX ONモードを選ぶ。

MX ON ←→ MX OFF

- 3 「MX」を2秒以上押して、MX選択モードを呼び出す。
- 4 15秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて好みのモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
 - OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。
 - 現在選んでいる音楽ソース (FMラジオ/CDなど) についてのレベルを調整できる。

FM : MXレベル1～3、OFF (Non Effect)
こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD : MXレベル1～3、OFF (Non Effect)
情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

CMPM(MP3/WMA/MGMS/iPodなど)/MD :
MXレベル1～3、OFF (Non Effect)
圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD(Video CD) : MOVIE (MXレベル1～2) MUSIC、
OFF (Non Effect)

- MOVIE (MXレベル1～2) :
映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。
- MUSIC:
ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

AUX : CMPM、MOVIE、MUSIC、OFF (Non Effect)
接続するメディアに対応したMXモード (CMPM、MOVIE、MUSIC) が選べる。



- OFFに設定すると各MXモードのMX効果がOFFになります。
- ラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。

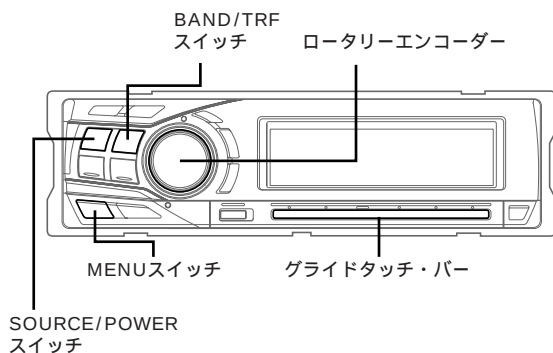
X-OVERの設定

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCrossover (X-OVER) モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL or R (L / R) を選ぶ。
L + R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
L or R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
- 5 「BAND/TRF」を押して、希望のチャンネルを選ぶ。
- 6 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて希望のカットオフ周波数 (クロスオーバーポイント) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 7 「SOURCE/POWER」を押して、スロープを調整する。
- 8 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、出力レベルを調整する。
- 9 さらに別のチャンネルを調整するには、手順5～9を繰り返す。
- 10 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのX-OVERは設定できません。「スピーカーの設定をする」(56ページ)を参照してください。
- 調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- スピーカーを保護するためサブウーハーL.P.F.でのフィルターOFF (スロープOFF) 設定はありません。
- FRONT 1でTweeterを選択している場合は、H.P.F.でのフィルターOFF (スロープOFF) 設定はできません。また、サブウーハーがSTEREOに選択している場合は、サブウーハーの調整内容になります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

オーディオプロセッサー



時間補正を行う (TCR) / 位相切りかえ

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。自分で補正値を算出してリスニングポジションでの時間差を取り除く時にこの機能を使います。

【時間補正の算出】

- 1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20℃）で割る。その値が各スピーカーの時間補正値となる。

・計算式

$$\frac{(\text{一番遠いスピーカーの距離} - \text{算出したいスピーカーの距離}) \times 1000}{343}$$

=時間補正値（この数値を手動で入力してください。）

● 具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

（条件）：

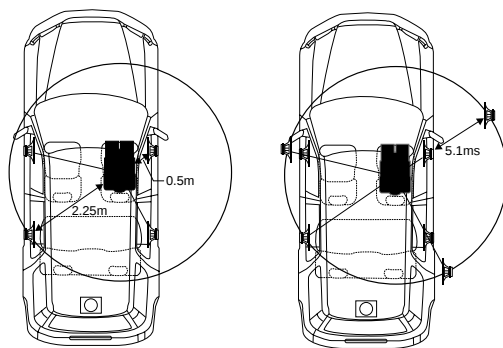
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1（ms）を与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。

時間補正により到達時間差が解消される。右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

【時間補正の入力】

- 4 ディフュージョンがOFFであることを確認する。
- 5 「MENU」を2秒以上押す。
- 6 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTime Correction（T.CORR/PHASE）モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 7 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。
L + R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
L / R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

- 8 「BAND/TRF」を押して、希望のチャンネルを選ぶ。
- 9 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせ、算出した時間補正值（0.00～20.00ms）を調整する。



- 「ロータリーエンコーダー」からも時間補正值を調整することができます。

【位相の切りかえ】

- 10 「SOURCE/POWER」を押して、位相（PHASE）を切りかえる。
0° ↔ 180°
- 11 さらに別のチャンネルを調整するには、手順8～10を繰り返す。
- 12 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- タイムコレクションの調整値の単位を変更するには、「タイムコレクションの調整単位の設定」（35ページ）を参照してください。
- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのTCRは設定できません。「スピーカーの設定をする」（56ページ）を参照してください。
- 自動調整（AUTO TCR）は本機では操作できません。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

- 4 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。
L + R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
L / R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせ、チャンネルを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 「BAND/TRF」を押して、希望のバンドを選ぶ。
- 7 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
- 8 さらに別のバンドを調整するには、手順6～7を繰り返す。
- 9 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

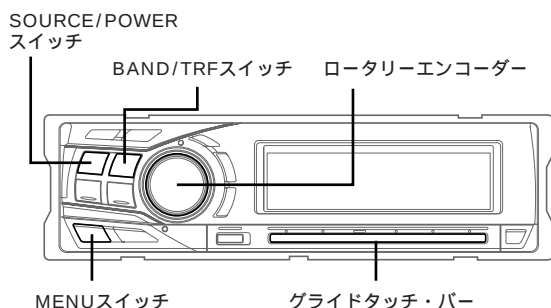


- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのグラフィックEQは設定できません。「スピーカーの設定をする」（56ページ）を参照してください。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz～30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- グラフィックEQの調整を行うと、パラメトリックEQでの調整は無効になります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

グラフィックEQの調整

フロント（L/R）/ リア（L/R）/ センター独立で31バンド、サブウーハーは10バンドのレベル調整を行えますので、思い通りの音場を再現することができます。

- 1 デフィートがOFFであることと、「イコライザーモードの設定」（32ページ）でG.EQを選択していることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせ、Graphic EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



パラメトリックEQの調整

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルがそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効です。

- 1 ディフューザーがOFFであることと、「イコライザーモードの設定」（32ページ）でP.EQを選択していることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてParametric EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。
L + R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
L / R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて希望のチャンネルを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押すと、チャンネルが切りかわる。
- 6 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。
- 7 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて周波数を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 8 「SOURCE/POWER」を押して、バンド幅（Q）を設定する。

- 9 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。

- 10 さらに別のバンドを調整するには、手順6～9を繰り返す。

- 11 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。

Memo

- スピーカーがOFFモードのときは、そのスピーカーのパラメトリックEQは設定できません。「スピーカーの設定をする」（56ページ）を参照してください。
- 隣り合うバンドの周波数は7ステップ以内に調整することはできません。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz～30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- パラメトリックEQの調整を行うと、グラフィックEQでの調整は無効になります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

Bass Compressorの設定

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBass Comp.モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて好みのモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
MODE 1 → 2 → 3 になるにつれて低音域を強め、より迫力のある音が楽しめる。設定しないときは、「OFF」を選ぶ。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。

スピーカーセットアップ

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて、PXA-H700またはPXA-H701を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー（サブウーハー以外）の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください（80Hz以下が目安です）。



- 本設定調整中は、本機側でストップ / ポーズ（一時停止） / ディスク交換 / 曲の頭出し / 早送り / 音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSpeaker Setupモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてスピーカーを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてスピーカー特性を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
OFF*1： スピーカーを接続していない場合
SMALL： 低域（80Hz 以下）が再生できないスピーカーを接続している場合
LARGE*2： 低域（80Hz 以下）が再生できるスピーカーを接続している場合
*1 フロントスピーカーは、OFFにはできません。
*2 フロントスピーカーがSMALLのときはリアスピーカーとセンタースピーカーをLARGEにできません。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- サブウーハーはON/OFFのみの設定になります。
- センタースピーカーをOFFにすると、フロントスピーカーから出力される音声信号に、センターの音声信号をプラスします。
- スピーカー特性をOFFに設定した場合はスピーカー設定もOFFに設定してください。（56ページ参照）
- セットアップは「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」の全てを行ってください。セットアップを行わなかった場合は「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」のバランスが崩れることがあります。
- センターをOFFに設定した場合は、この機能で「センター」の設定を行っても効果がありません。
- 各スピーカーの設定を変更すると、その設定条件により変更したスピーカー以外の出力も変化する場合があります。
- PRO LOGIC IIでご使用の場合、リアスピーカーを「LARGE」に設定するとサブウーハーは出力されません。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

ドルビーデジタルを設定する

スピーカーレベルを調整する

本機から出力されるテストトーンで各スピーカーの音量が同じ大きさになるように調整します。各スピーカーの音量をリスニングポジションにおいて同じ大きさに調整することで高い臨場感が得られます。

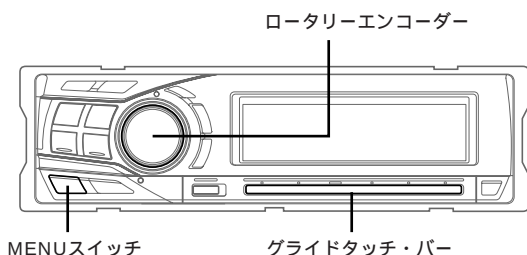


- 本設定調整中は、本機側でストップ / ポーズ（一時停止） / ディスク交換 / 曲の頭出し / 早送り / 音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてMulti CH Setupモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてOUTPUT LEVELを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
自動的に各スピーカーからテストトーンが鳴ります。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、それぞれの音量が同じになるように出力レベルを調整する。
 - 各スピーカーは - 10dB ~ + 10dB の範囲で調整できる。
 - フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- スピーカーが「OFFモード」のときは、そのスピーカーのレベル調整はできません。「スピーカーセットアップ」（61ページ）を参照してください。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。
- 調整中は、スピーカーの切りかえはありません。



リアに低域音声をミキシングする

リアスピーカーから出力される音声信号に、フロントの音声信号をミキシングします。

後部座席でより聴きやすくなります。



- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてMulti CH Setupモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてREAR MIXを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてREAR MIX (ON)または(OFF)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
ONに設定するとリアスピーカーから出力される音声信号に、フロントの音声信号をミキシングします。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回してレベルを調整し、押す。
レベルは - 6、- 3、0、+ 3、+ 6 まで調整できる。レベルが大きくなると、リアスピーカーから出力される低域の音声が増加する。（効果は、DVDなどのソフトによって異なる。）
- 7 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- スピーカーセットアップの設定がリア「OFF」の時は調整を行っても効果がありません。
- リニアPCM信号の場合は、REAR FILLやREAR MIXの設定に関わらずリアスピーカーから音声が出力されます。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

音像を調整する

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーをリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能で仮想的に、センタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。（「PRO LOGIC IIを使う」（64ページ）で「PL II MUSIC」を選択し、センター幅の調整機能が動作中は、この機能で調整を行っても効果がありません。）



- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてMulti CH Setupモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBI-PHANTOMを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBI-PHANTOM (ON)または(OFF)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
ONに設定すると、仮想的にセンタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回してレベルを調整し、押す。
レベルは - 5 ~ + 5 まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。
- 7 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にすると効果が得られます。
- 「スピーカーの設定をする」(56ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。
本機設定後のDVD再生時は、その性質上、他のソースよりも音楽信号レベルが低下しますが故障ではありません。「DVDレベルを調整する」(63ページ)でレベル調整を行ってください。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

迫力のある大音量再生を楽しむには

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます。



- この機能は、ドルビーデジタルの場合のみ有効です。

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてMulti CH Setupモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてLISTEN MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSTANDARD (STD)またはMAXIMUM (MAX)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
STD：通常の音量で迫力のある音を楽しむとき
MAX：大音量で迫力のある音を楽しむとき
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。
- DVDソフトなどのソースの種類によっては効果が無いものがあります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

DVDレベルを調整する

ドルビーデジタル/DOLBY PL II/DTS/PCM それぞれのモードでの音量信号レベルを設定することができます。

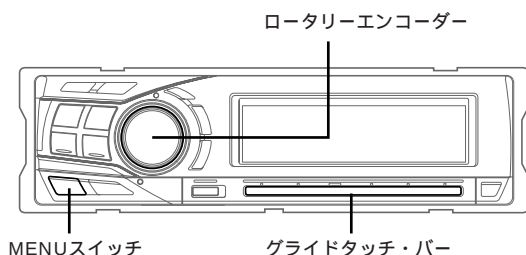


- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDVD Levelモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて調整するモード(DOLBY DIGITAL, DOLBY PL II, DTS, PCM)を選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
レベルは、- 5 ~ + 5 の範囲内で調整できる。
- 6 続けて他のモードのレベル調整をする場合には、「MENU」を押して1つ前の表示に戻し、手順4、5をくり返す。
- 7 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。



PRO LOGIC IIを使う

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます。また、2チャンネルのドルビーデジタル、DTS信号の場合は、リアにフロントの信号を出力する「REAR FILL」を使用することができます。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDolby PL IIを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、DOLBY PL II セットアップモードにする。
- 4 さらに「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDOLBY PL IIを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて好みのモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- PL II MOVIE : ステレオTVショーやドルビーサラウンドでエンコードされたすべてのプログラムに向いています。その効果はディスクリート5.1チャンネルサウンドの質に迫る音場指向性の改善です。
- PL II MUSIC : あらゆるステレオ音楽録音で用いられ、広く深い音場を確保できます。
- PL II FILL : 入力信号によっては、音の出力がフロントスピーカーのみの場合があります。このときREAR FILL を使用することでリアスピーカーからも音を出力させることができます。
- OFF : DOLBY PL II 機能をOFF にする。

「PL II MUSIC」を選んだ場合は、以下の操作でさらにセンター幅の調整が行えます。
この機能はセンターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/R スピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供します。(この機能の動作中は「音像を調整する」(62ページ)で調整を行っても効果がありません。)

CENTER WIDTH CONTを選ぶ

- 1) 左記「RPO LOGIC IIを使う」の手順4のDOLBY PL II セットアップモードでCENTER WIDTHを選ぶ。
- 2) 「グライドタッチ・バー」にタッチして、左右にスライドさせ、ONまたはOFFを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
ONに設定するとセンターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/Rスピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供する。
- 3) 「ロータリーエンコーダー」を回転させてレベルを調整する。
レベルは0～7まで調整でき、レベルが大きくなるとセンターチャンネル定位はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



Memo

- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にすると効果が得られます。
- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- 「スピーカーの設定をする」(56ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。
- この機能は2チャンネル信号のみ有効です。DTSやドルビーデジタルの5.1ch信号が入力されたときは効果がありません。
- REAR MIXがONのときにREAR FILLの設定を行った場合、リアPCM以外の2チャンネルデコード中はREAR MIXを優先させますので、REAR FILL設定での音の変化はありません。
- リニアPCM信号の場合は、REAR FILLやREAR MIXの設定に関わらずリアスピーカーから音声出力されます。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は65ページを参照してください。

リニアPCMの設定

リニアPCM で記憶されたディスクの再生時の出力を2ch または3ch に設定することができます。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「MENU」を2秒以上押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDVD Levelモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてPCM MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて(2CH OUTPUT)または(3CH OUTPUT)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
2CH OUTPUT : 2ch 出力(L/R)
3CH OUTPUT : 3ch 出力(L/R/CENTER)
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 「スピーカーの設定をする」(56ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。

記憶する

本機は調整/設定した内容を6つ(Preset 1~6)まで記憶させることができます。

下記調整/設定項目のすべてが1つのプリセットメモリーに記憶されます。

調整/設定項目	参照ページ
スピーカーの設定	56
時間補正/位相切り換え	58~59
EQの調整	59~60
X-OVERの調整	57
MXの設定	57
BASS COMP. の設定	60
PRO LOGIC IIの設定/センター幅の調整	64
ドルビーサラウンドの調整	61~63
リニアPCMの設定	65

入力信号によっては効果がありません。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAP Preset Modeを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号(1~6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。



- ディフューザーOFFのときのみ有効です。
- 記憶した内容はバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。
- 記憶した内容はソースを切りかえたときでも保持されています。

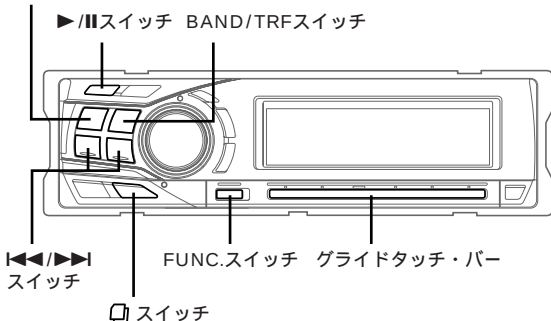
記憶した値の呼び出し

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAP Preset Modeを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて呼び出したいプリセット番号(1~6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- ディフューザーOFFのときのみ有効です。
- 記憶したプリセットメモリーを呼び出すには多少時間がかかります。

SOURCE/POWER
スイッチ



iPod™ 操作

iPod™ または iPod™ mini を別売の INTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) を使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPod からの操作はできなくなります。

- iPod の機能については、iPod ユーザーズガイドを参照してください。
- 組み合わせる INTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) の取扱説明書をご覧ください。

iPod™ の曲を聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、iPod モードにする。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し 「◀◀」を押す。
- 早戻し 「◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
- 早送り 「▶▶」を押し続ける。

- 3 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。
再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。



- 再生中の iPod を本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、iPod とチェンジャーを接続している場合は、「BAND/TRF」を押して iPod 側を選びます。
- 「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り / 早戻し、再生 / 一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

聴きたい曲を探す

iPod には数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではさまざまな検索が可能になっています。



- サーチモード中に「◻」を2秒以上押す。または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- M.I.X. 演奏中にサーチ機能はできません。

Playlist (プレイリスト) から探す

- 1 「◻」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて Play List Search を選ぶ。
↓
→プレイリストサーチモード ↔ アーティストサーチモード ↔
→アルバムサーチモード ←
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プレイリスト名が表示されます。
- 4 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいプレイリストを選ぶ。
- 5 10秒以内に「▶||」を押す。
選んだPlaylistを繰り返し再生する。

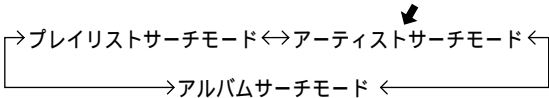
選んだPlaylistの曲を検索するには

- 1 手順4でPlaylistを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して曲名サーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す、または「▶||」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してプレイリストを送ることができます。
- 手順4でiPodに登録されている「iPod名」を選択すると、iPod内の全ての曲を再生します。

アーティスト名から探す

- 1 「□」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてArtist Searchを選ぶ。

- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
アーティスト名が表示されます。
- 4 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいアーティストを選ぶ。
- 5 10秒以内に「▶/||」を押す。
選んだアーティストの曲を全曲繰り返し再生する。

選んだアーティストのアルバムを検索するには

- 1 手順4でアーティストを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押してアルバム検索モードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてアルバムを選ぶ。
- 3 「▶/||」を押す。
選んだアルバムの曲を全曲繰り返し再生する。

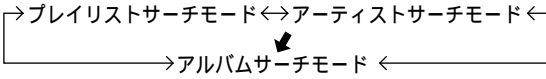
選んだアルバムの曲を検索するには

- 1 手順2でアルバムを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して曲名検索モードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す、または「▶/||」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してアーティスト名、曲名を送ることができます。
- 手順4でALLを選び、「▶/||」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押すと、全てのアーティストのALBUM検索モードになります。
- 手順2でALLを選び、「▶/||」を押すと、選んだアーティストの全ての曲の再生を行います。ALLを選び「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押すと、選んだアーティストのsong検索モードになります。

アルバム名から探す

- 1 「□」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAlbum Searchを選ぶ。

- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
アルバム名が表示されます。
- 4 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、アルバムを選ぶ。
- 5 10秒以内に「▶/||」を押す。
選んだアルバムの曲を全曲繰り返し再生する。

選んだアルバムの曲を検索するには

- 1 手順4でアルバムを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して曲名検索モードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す、または「▶/||」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してアルバム名、アーティスト名、曲名を送ることができます。
- 手順4でALLを選び、「▶/||」を押すと、検索モードを解除します。ALLを選び「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押すと、全てのアルバムのsong検索モードになります。

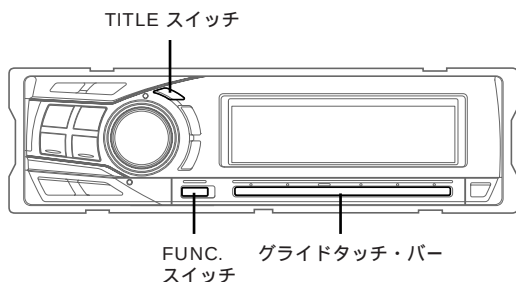
クイックサーチ

簡単にiPod内の曲（ファイル）を選択することができます。

- 1 「□」を2秒以上押す。
クイック検索モードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



- 検索モード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、検索モードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して曲を送ることができます。
- クイックサーチ中は「Quick Search」と表示します。



曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)

iPodのシャッフル機能は、ヘッドユニットではM.I.X.と表示されます。

シャッフル・アルバム (M.I.X. ALBUM) :

iPod内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

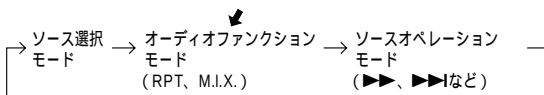
あらかじめプレイリスト・アーティストサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

シャッフル・曲 (M.I.X. ALL ON) :

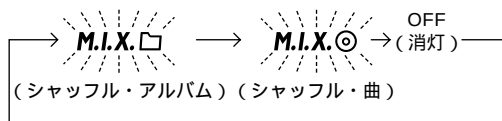
iPod内の全曲を順不同に演奏する。

あらかじめプレイリスト・アーティスト・アルバムサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に演奏する。

1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



2 「グライドタッチ・バー」の (M.I.X.) にタッチして M.I.X.モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
順不同に演奏する。



3 解除するには手順1、2の操作を行い、M.I.X. OFFを選ぶ。



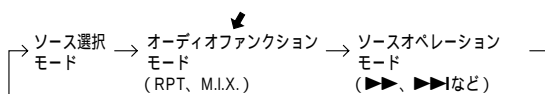
Memo

- サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(66ページ)を参照してください。
- アルバムサーチモードで曲を選んでした場合、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。
- プレイリストの中にアルバムがない場合は、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。

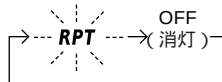
繰り返し聴く REPEAT (リピート)

iPodモードでのリピート機能は1曲リピートのみになります。

1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチして RPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲を繰り返し演奏する。



3 解除するには手順1、2の操作を行い、REPEAT OFFを選ぶ。



Memo

- リピート再生中は◀◀、▶▶Iを押して (タッチして) 他の曲を選ぶことはできません。

- ファンクションモードは10秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチすると前回呼び出したファンクションモードを呼び出すことができます。



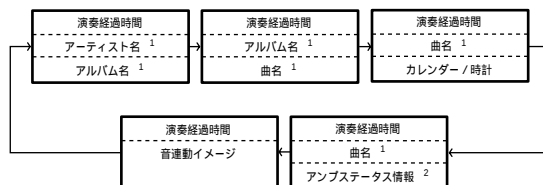
テキストを表示する

iPodの曲（ファイル）のタグ情報を表示させることができます。

1 「TITLE」を押す。

タグ情報が表示される。

情報が無い場合は、「NO DATA」が表示される。



1 タグ表示

2 別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ表示可能



Memo

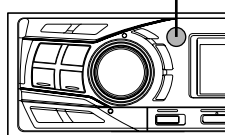
- iTunesでアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。250文字以内に設定することをお勧めします。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は64文字（64byte）までになります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- プレイリスト名を表示させることはできません。
- 本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。

リモコン操作

使用時のご注意

- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

リモコンセンサー部



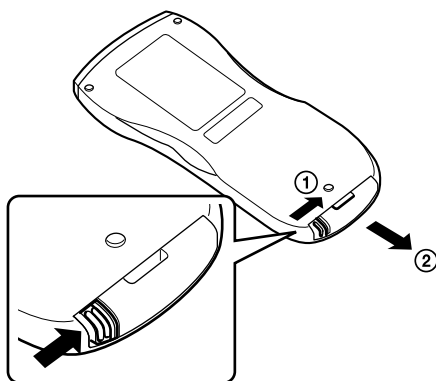
- 添付リモコン以外のリモコンを使用する場合は、一部の操作はできません。

電池を入れる

電池はリチウム電池（CR2025）をご使用ください。

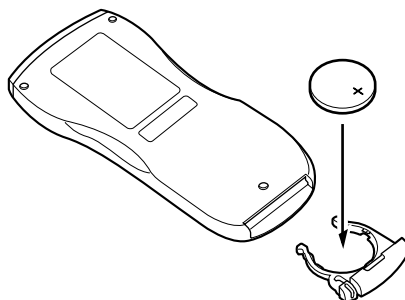
1 電池ホルダーを外す

矢印 ① の方向へ押しながら、矢印 ② の方向へ押し出します。



2 電池を入れる

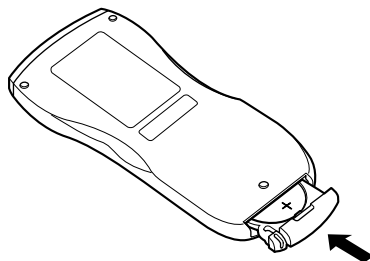
図のように（+）側を上に向けて、電池を入れてください。



- 電池の極性を逆に入れると故障の原因になります。

3 電池ホルダーを閉める

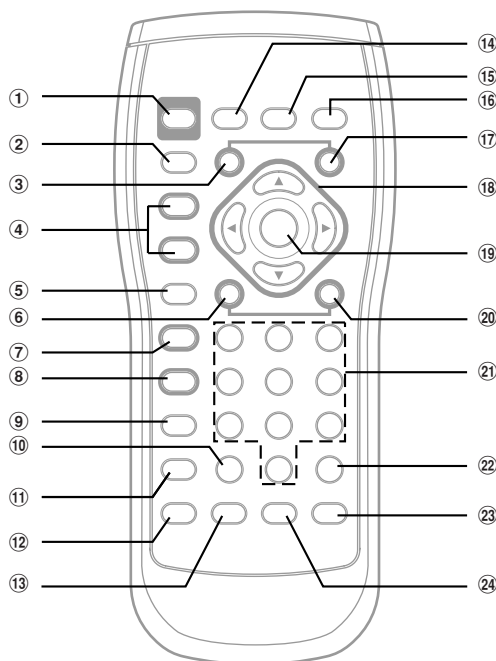
電池ホルダーを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



⚠ 警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

リモコンボタンの機能



- ① PWRボタン
電源ON/OFF切りかえ
- ② SRCボタン
オーディオソース切りかえ
- ③ DNボタン
ラジオモード : プリセットDOWN
CDチェンジャーモード : ディスクDOWN
MP3/WMAモード : フォルダーDOWN
- ④ VOLUME▲/▼ボタン
音量を調整
- ⑤ RETURNボタン
DVD/ビデオCDモード (PBC ON)
: ひとつ前の選択画面へ戻る
(ディスクによっては戻らないものもあります)
- ⑥ ◀◀ボタン
ラジオモード : SEEK DOWN
CD/チェンジャーモード : トラックDOWN
押し続けると早送り
MP3/WMAモード : ファイルDOWN
押し続けると早送り
DVD/ビデオCDモード :
・映像の頭出し
・再生中に1秒以上押しで2倍速早送り。その状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り
・一時停止中に押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生。その状態で5秒以上押し続けると1/2倍速でスローモーション再生 (DVDのみ)
・一時停止中に1回押すごとにコマ送り再生 (DVDのみ)
- ⑦ ▶▶ボタン
ディスクモード : 再生/一時停止切りかえ
SEARCHボタン
MP3/WMAモード : 2秒以上押しでフォルダ/ファイルサーチリストをモニター画面に呼び出す

- ⑧ ■ボタン
DVD/ビデオCDモード : 再生停止
- ⑨ MENUボタン
DVDモード : メニュー画面呼び出し
ビデオCDモード : PBC ON/OFF (PBC機能付ビデオCD)
- ⑩ CLR (ALL CLR) ボタン
選択/入力した数字を1文字ずつ取り消す
2秒以上押しで、選択/入力した数字を全文字消去する
- ⑪ DISP/TOP M.ボタン
ディスクモード : 再生状態を表示
DVDモード : 2秒以上押しで、トップメニュー画面表示
- ⑫ SETUPボタン
DVD SETUP (初期設定) 画面を呼び出す
- ⑬ AUDIOボタン
DVDモード : 音声言語切りかえ
ビデオCDモード : 音声出力切りかえ
- ⑭ BANDボタン
ラジオモード : バンド切りかえ
チェンジャーモード : チェンジャーモード切りかえ
- ⑮ A.PROCボタン
オーディオプロセッサモードを呼び出す
- ⑯ MUTEボタン
瞬時に音量が下がる。再度押すと解除する
- ⑰ UPボタン
ラジオモード : プリセットUP
CDチェンジャーモード : ディスクUP
MP3/WMAモード : フォルダーUP
- ⑱ ▲、▼、◀、▶ボタン
画面に表示される項目を選択
オーディオプロセッサモード : モードを選択
- ⑲ ENT. ボタン
選択した項目を決定する
オーディオプロセッサモード : モードを確定する
- ⑳ ▶◀ボタン
ラジオモード : SEEK UP
CD/チェンジャーモード : トラックDOWN
押し続けると早送り
MP3/WMAモード : ファイルDOWN
押し続けると早送り
DVD/ビデオCDモード :
・映像の頭出し
・再生中に1秒以上押しで2倍速早送り。その状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り
・一時停止中に押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生。その状態で5秒以上押し続けると1/2倍速でスローモーション再生
・一時停止中に1回押すごとにコマ送り再生
- ㉑ 10キー
DVD/ビデオCDモード : 数字の入力
- ㉒ MONITORボタン
接続しているモニターの入力モード切りかえ
- ㉓ ANGLEボタン
DVDモード : 映像アングルの切りかえ
- ㉔ SUBTITLEボタン
DVDモード : 字幕言語の切りかえ

別売のリモートコントロール・インターフェース・ボックス (今後発売予定) と接続すると、車のステアリングリモコンから本機を操作することができます。





取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - RCAコード（ピンコード）
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について
CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード（2m） S端子コード（3m） PIN接続コード（映像信号用）（6m）



サラネジ（M5×8）



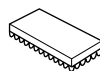
× 4

バインドネジ（M5×8）



× 4

マジックテープ



× 2

リモコン



電池（CR2025）



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、5. 本機を取り付ける 2. で利用します。）

3. 接続する

- 75ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。

<電源コードについてのご注意>

 - 本機添付の電源コードをご使用ください。他製品の電源コードでの代用はしないでください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点が付いているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

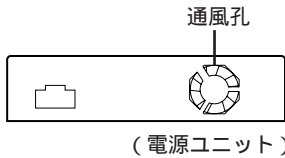


4. 電源ユニットを取り付ける



注意

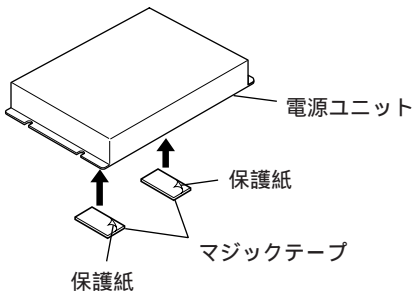
通風孔や放熱板をふさがない。
通風孔・放熱板をふさがないでください。
通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



マジックテープを使って取り付ける。
マジックテープで取り付ける場合は必ず平らな場所を選んでください。
電源ユニットが逆さまになるような位置には取り付けないでください。

1. 電源ユニットを取り付ける。

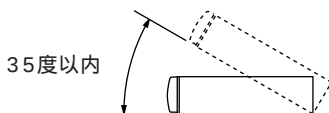
電源ユニットに付属のマジックテープを貼り付け、助手席の下などのフロアカーペットに固定する。



5. 本機を取り付ける

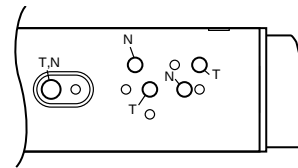
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

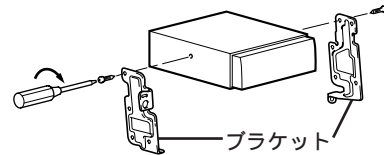


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車専用
T穴→トヨタ・ミツビシ車専用



- 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
- インパネを取り付ける。
- コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。



- 車両雑音から守るために
- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

6. 確認する

- イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- ホーン（クラクション） ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



IN-INTの接続について

- IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。
- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
 - OUT-INT対応の製品と組み合わせる
Ai割り込みBOX（NVE-K200）またはAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などとOUT-INT対応のTV（TVE-T038など）を組み合わせ使用するとき接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。



取り付けと接続

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

取り付け前に、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

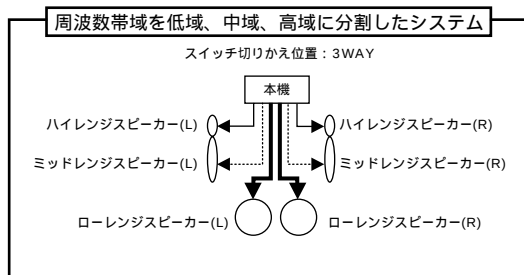
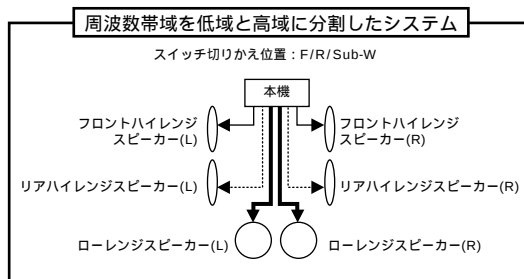
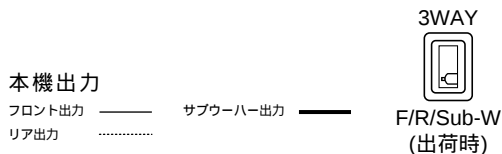
切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

3WAY/2WAY切りかえスイッチ

下記システム図を参考にスイッチを切りかえてください。
詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

(本機の底面部)

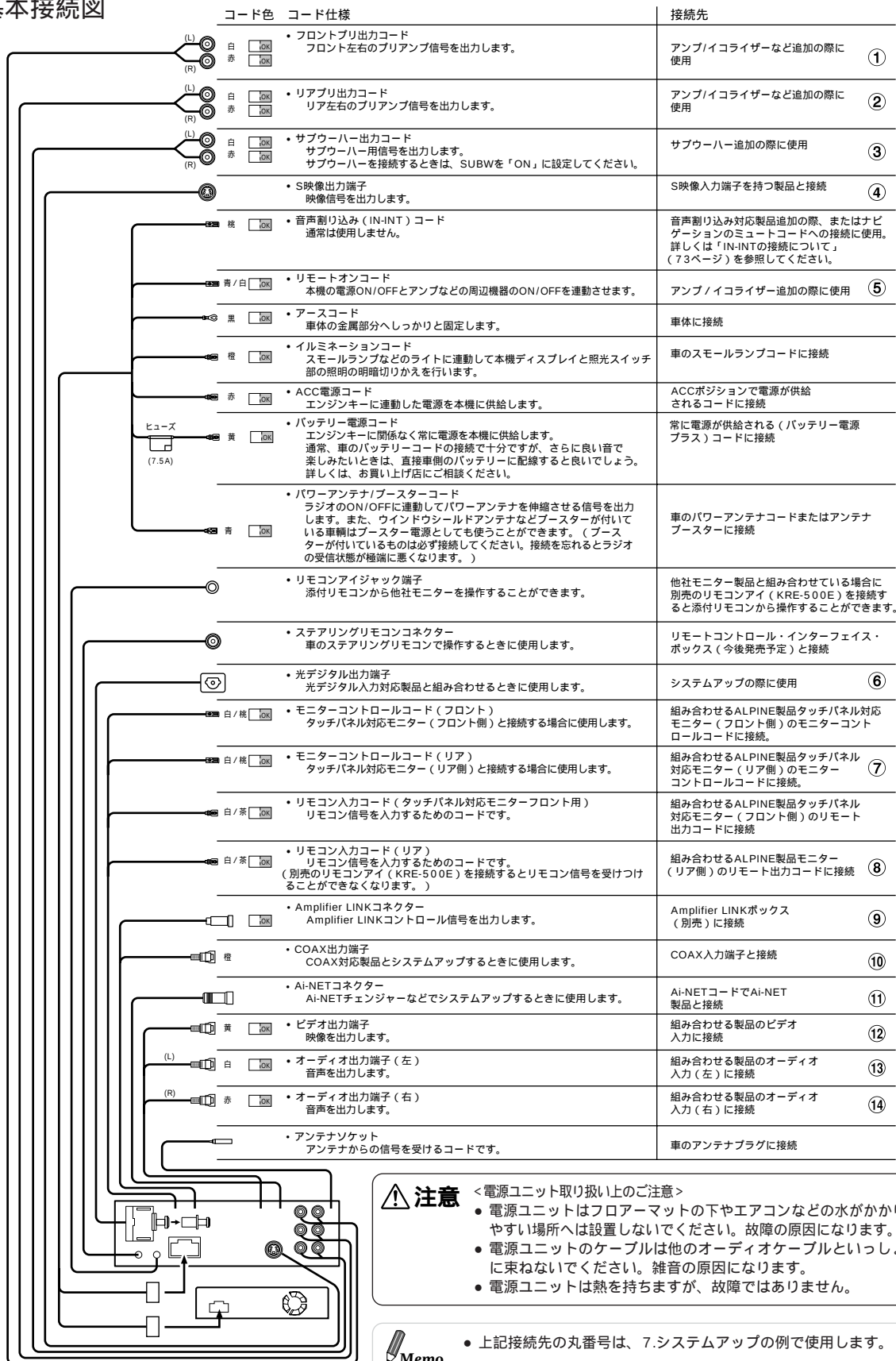


Memo

- ローレンジスピーカーへの接続は本機のサブウーハー出力コードを使用します。
- 「3WAY」に設定した場合、フェダー調整はできません。



基本接続図



注意

<電源ユニット取り扱い上のご注意>

- ・電源ユニットはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- ・電源ユニットのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねないでください。雑音の原因になります。
- ・電源ユニットは熱を持ちますが、故障ではありません。



- ・上記接続先の丸番号は、7.システムアップの例で使用します。



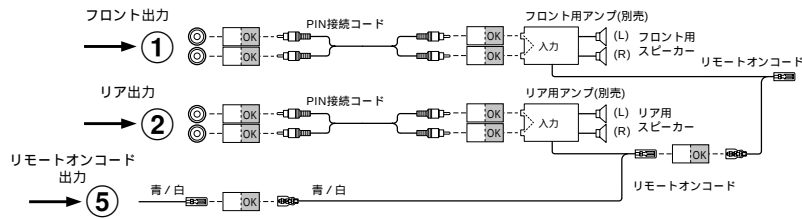
取り付けと接続

7. システムアップの例

1) Ai-NET対応CDまたはMDチェンジャーを接続する



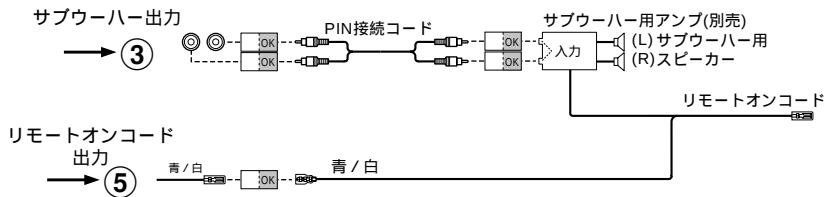
2) 外部アンプを接続する



3) サブウーハーアンプを接続する



●「サブウーハーを接続する」(44ページ)を参照してください。

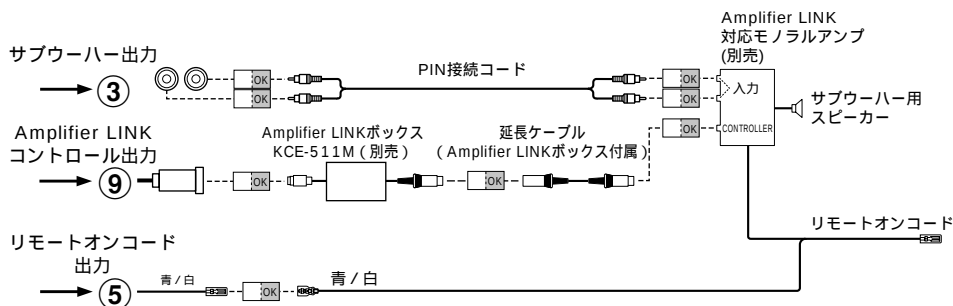


必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

4) Amplifier LINK対応モノラルアンプを接続する

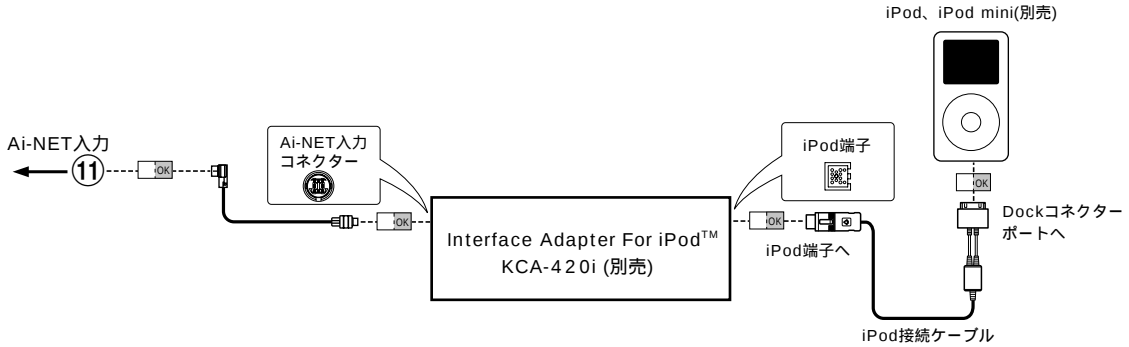


●「サブウーハーを接続する」(44ページ)を参照してください。

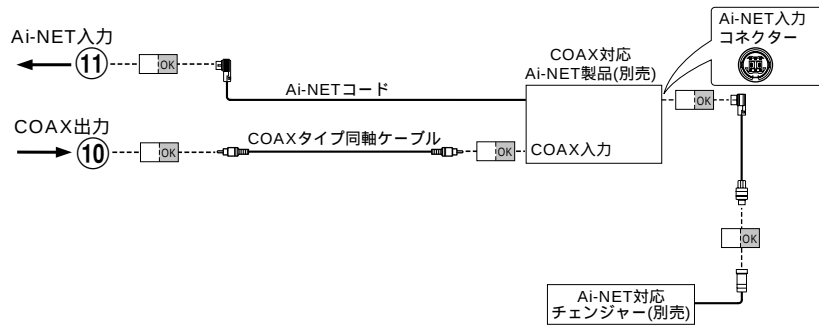




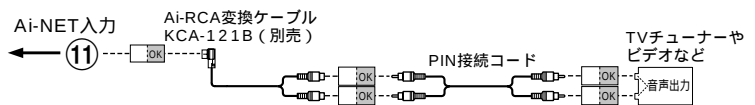
5) 「iPod」 + 「Interface Adapter For iPod™」を接続する



6) 「COAX対応・Ai-NET製品」 + 「チェンジャー」を接続する



7) 外部入力にビデオなどを接続する



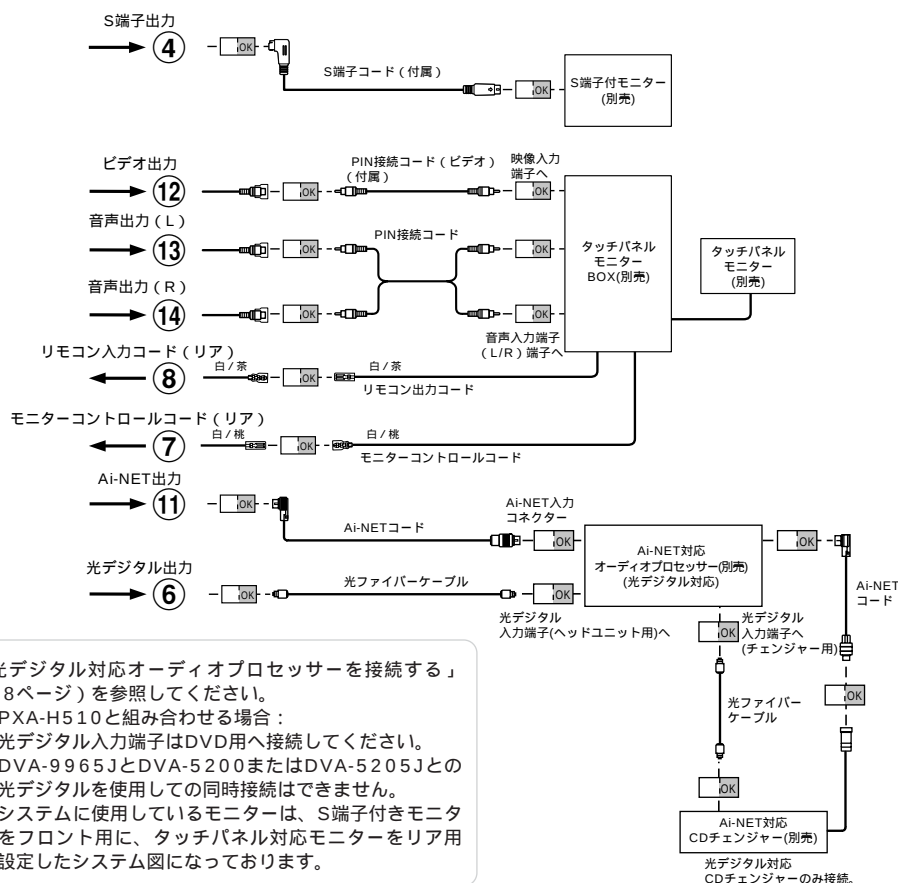
Memo

- 「外部入力の設定」(47ページ)を参照してください。



取り付けと接続

8) 「Ai-NET対応オーディオプロセッサー (光デジタル対応)」 + 「モニター」 + 「チェンジャー」を接続する



Memo

- 「光デジタル対応オーディオプロセッサーを接続する」 (48ページ) を参照してください。
- PXA-H510と組み合わせる場合：
 - ・ 光デジタル入力端子はDVD用へ接続してください。
 - ・ DVA-9965JとDVA-5200またはDVA-5205Jとの光デジタルを使用している同時接続はできません。
- 本システムに使用しているモニターは、S端子付きモニターをフロント用に、タッチパネル対応モニターをリア用に設定したシステム図になっております。

⚠ 注意 光ファイバークーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバークーブルを配線するときは、鋭角に折り曲げないでください。
- 光ファイバークーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです)
- 光ファイバークーブルに製品などを載せないでください。

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど (外部入力) 2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P83）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。（→P75）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→P9）
- BLACK OUT機能が動作している。（ディスプレイが暗くなっている）
 - ・ BLACK OUT機能を解除する。（→P37）

電源が入る音がでない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。（→P10）
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→P10）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。（→P75）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフイートがONになっている。
 - ・ ディフイートをOFFにする。（→P10）

ディスク部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。ノ音がとび、ノ音が歪む。ノ早送り/早戻しができない。

- 車内温度が50℃以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。録音状態が良くない。音楽用ディスクでない。本機対応のディスクでない。他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ビックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→P83）
 - ・ レンズクリーナーを使用する場合は、必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面/センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RWが再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
 - ・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMAが演奏されない。

- 書き込みに失敗しているノ対応フォーマット以外で書き込まれている
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMAについて」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→P87）
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
 - ・ 他のソフトで試してみる。

動作しない。

- モニター電源が入っていない。
 - ・ モニターの電源を入れる。
- 結露している
 - ・ しばらく放置（1時間程度）してから使う。

映像が出ない。

- モニターのモードがご覧になりたいモードになっていない。
 - ・ ご覧になりたいモードに切りかえる。
- モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続していない。
 - ・ パーキング・ブレーキをかけていない。
 - ・ モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続し、パーキング・ブレーキをかける。
 - （詳しくはモニター側の説明書をご覧ください。）

再生が始まらない。

- ディスクを裏返しに入れている。
 - ・ ディスクを確認し、ラベル印刷面を上にして入れる。
- ディスクが汚れている。
 - ・ ディスクをきれいにする。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
 - ・ 再生できるディスクを確認する。（→P3）
- 視聴制限がされている。
 - ・ 視聴制限を解除、または規制レベルを変更する。
- DVDセットアップメニューが表示されている。
 - ・ リモコンのRETURNボタンを繰り返し押し、セットアップメニュー画面を消す。

映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする。

- 早送り/早戻しをした。
 - ・ 多少乱れることはありますが、故障ではありません。
- 車のバッテリー電源が低下している。
 - ・ バッテリー電源および配線を確認する。
 - （負荷状態で11ボルトを下回ると誤作動の原因となります。）
- モニターの蛍光管が消耗している。
 - ・ モニターの蛍光管を交換する。

映像が時々止まる。

- ディスクにキズがある。
 - ・ キズの無いディスクと交換する。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
 - アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
 - 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。（→P25）
 - 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
 - アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。
- 自動的に放送局が選べない。
- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→P25）

メッセージが表れたら... (CD部)

NO DISC

- ディスクが入っていない。
・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
・ 次の方法でディスクを取り出す。
①「▲」を2秒以上押す。

HI TEMP

- 車内温度が高すぎる。
・ 車内温度を常温まで下げる。

ERROR

- ディスク傷、ディスク汚れ。/ 録音状態が良くない。/ 音楽用ディスクでない。
・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

NO TEXT

- テキストが入力されていない。
・ CDテキスト対応のCDと交換する。

NO SUPPORT

- 本機 (チェンジャー) で対応していない文字情報が入力されている。
・ 本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。(本機では、「漢字」/「ひらがな」などは、表示されない。)

NO DATA

- MP3/WMAファイルにタグ情報が入力されていない。
・ タグ情報が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。

PROTECT

- コピープロテクト (著作権保護) されているWMAファイルを演奏した。
・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。

UNSUPPORT

- 本機指定のMP3/WMAフォーマットで書き込みされていない。
・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら... (DVD/ビデオCD部)

NO DISC

NO DISC

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- ディスクが入っていない。
・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏またはイジェクトができない。
・ 次の方法でディスクを取り出す。
①「▲」を2秒以上押す。

HI-TEMP

HI TEMP

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- 車内温度が高すぎる。
・ 車内温度を常温まで下げる。

DISC ERROR

ERROR

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- ディスク傷、ディスク汚れ。/ 録音状態が良くない。/ 本機対応のディスクでない。
・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは、「▲」を2秒以上押してディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。



(モニターディスプレイ)

- リモコン操作を受け付けられない。
・ ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。
○マークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。

REGIONAL CODE VIOLATION

ERROR

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- ディスクの地域コード番号が合っていない。
・ 地域コード番号が対応しているディスクを入れる。(→P3)

VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT

ERROR

(オーディオディスプレイ)

- PAL対応のディスクを入れた。
・ NTSC対応のディスクを入れる。

LOADING ERROR

ERROR

(オーディオディスプレイ)

EJECT ERROR

(モニターディスプレイ)

- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは、「▲」を2秒以上押してディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

メッセージが表れたら... (チェンジャー部 (オプション))

NO MAGZN	- マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。 - マガジンをCDチェンジャーにセットする。
NO DISC	- ディスクが入っていない。 - ディスクを入れる。
HI TEMP	- 車内温度が高すぎる。 - 車内温度を常温まで下げる。
ERROR-01	- ディスクがマガジンに戻っていない。 ①「▲」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。 - メカニズムエラー。 ①「▲」を押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。
ERROR-02	- ディスクがマガジンに戻っていない。 ①「▲」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

メッセージが表れたら... (iPod™部 (オプション))

NO IPOD	- iPodが接続されていない。 - iPodが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。 - iPodバッテリーの残量が少ない。 - iPodユーザーズガイドを参照して、iPodを充電する。
NO FILE	- iPodに曲 (ファイル) が入っていない。 - iPodに曲 (ファイル) を転送してから接続する。
ERROR-01	- 通信エラー。 - 一度イグニッションキーを「OFF」にしてから、もう一度「ACC」または「ON」にする。 - iPodとiPod接続ケーブルを接続しなおして表示を確認する。
ERROR-02	- 本機で対応していないiPodソフトウェア・バージョンである。 - KCA-420取扱説明書「本機対応のiPod™について」を参照し、本機対応のiPodソフトウェア・バージョンにアップデートする。

規格

チューナー部		リモコン部	
受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz	使用電源	CR2025 × 1 DC3V
実用感度	AM ; 22.5 μV, FM ; 0.8 μV (75 Ω) :9.3dBf (新IHF)	外形寸法	40 (幅) × 119 (高さ) × 13 (奥行) mm
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上	重量	40g (電池含まず)
SN比	FM ; 80dB以上	一般	
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上	使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
IF妨害比	FM ; 80dB以上	アース方式	マイナスアース
CD/DVD部		出力レベル	4V / 10kΩ (最大)
方式	光学式 (コンパクトディスク方式)	外形寸法	178 (幅) × 50 (高さ) × 160 (奥行) mm
量子化ビット数	1ビット	重量	1.6 kg
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)	● 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。 ● 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。 ● 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。	
周波数特性	5Hz ~ 20kHz (± 1dB)		
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上		
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下		
チャンネルセパレーション	90dB (1kHz) 以上		
ワウフラッター	測定限界以下		
信号システム	NTSC規格		
水平解像度	500本以上		
画像出力レベル	1Vp-p (75 Ω)		
画像SN比	DVD ; 70dB		
音声SN比	115dB以上		

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または83ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口へ、修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または83ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成17年5月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30～17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県 / 山形県 / 秋田県 福島県 青森県 / 岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 広島県 / 山口県 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号 ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)バルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

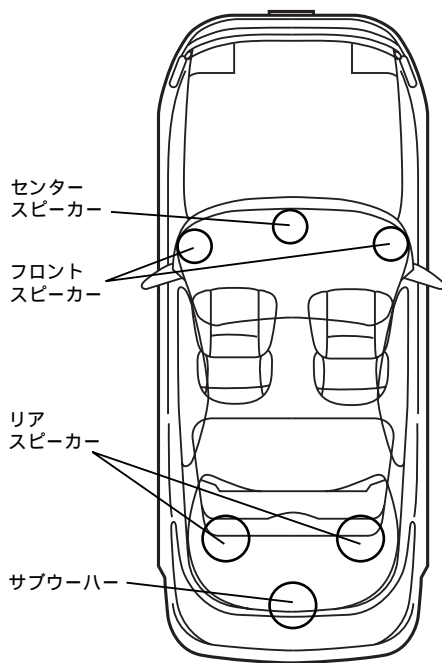
用語解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビー研究所が開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。異なるチャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。

完全な5.1チャンネル・サラウンドサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900、PKG-H701Sなど）が必要です。

DVA-9965Jは、ドルビーデジタルのデコードを行い、アナログオーディオ信号を出力します。その場合は2チャンネルオーディオで5.1チャンネルではありません。



ドルビーデジタル／DTSを楽しむための
スピーカーレイアウト

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

DTSサラウンドを楽しむには別売のDTSデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900、PKG-H701Sなど）が必要です。また、DVDビデオソフトもDTSに対応したものをお使いください。

DVA-9965Jは、DTS2チャンネルデコーダーを内蔵しており、DVA-9965J単体使用でもアナログ信号を出力します。

PRO LOGIC

PRO LOGICは、ドルビーサラウンドでエンコードされたプログラムをデコードするときに用いられる技術です。PRO LOGICデコーディングによって、2チャンネル（ステレオ）のソースから4チャンネル（フロント左右、中央、およびモノラルリアサラウンド）のサウンドを提供します。

PRO LOGICサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H510、PXA-H900）が必要です。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC II は、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

Dolby PRO LOGIC II サウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PKG-H701Sなど）が必要です。

リニアPCM音声（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制（パレンタルロック）

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

言語コード表

(詳しくは50ページをご覧ください。)

記号	コード	言語
AA	6565	アフアル語
AB	6566	アブバジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語

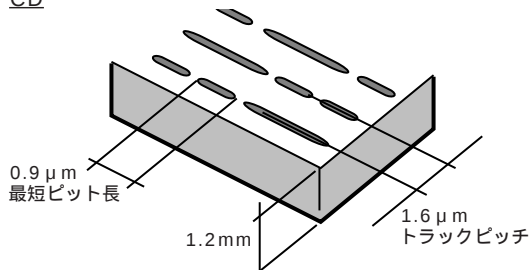
記号	コード	言語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JI	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン) オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ = ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語

記号	コード	言語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サング語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スダダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニヤ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

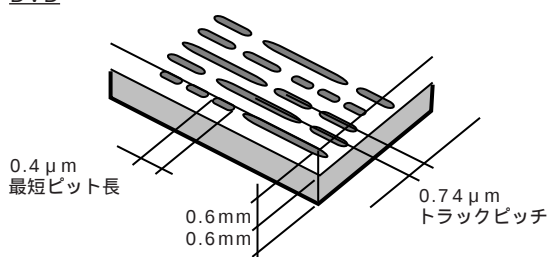
DVDについて

音楽CDやDVD等のディスクには、情報を記録するための溝（トラック）があります。そこに、0と1のデジタル情報を凹凸で表した細かいビットが作られ、それをレーザー光で読み取り再生します。DVDは、トラック間隔をCDの半分以下に狭め、ビットもより細かくして高密度でより多くの情報を記録させています。

CD



DVD



12cmのディスクに映画なら1本分、音楽なら約4時間を収録できます。

さらに水平解像度500本以上の高画質により透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現します。また、別売りのデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H510、PXA-H900、PKG-H701Sなど）と組み合わせることによりドルビーデジタル5.1chサラウンドで劇場の迫力と臨場感を再現することができます。

さらに、DVDディスクにはいろいろな機能があります。

- マルチ音声機能*（15ページ）

1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの音声で再生することができます。

- マルチアングル機能*（16ページ）

複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、リモコンのボタン操作でお好みのアングル（角度）で再生することができます。

- サブタイトル（字幕）機能*（16ページ）

映画の字幕スーパーなら32カ国語まで収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの字幕で再生することができます。

- マルチストーリー機能*

1本の映画の中にいくつものストーリーが入っていて、お好みのストーリーを選ぶことにより何通りものストーリーを楽しむことができます。

操作方法はディスクによって異なりますが、再生中にストーリー選択画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。



- *これらの機能は、ディスクによって収録されている音声言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

MP3/WMAについて

注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMAデータ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

WMAまたは「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。WMAはMP3オーディオデータと同様に小さいファイルサイズでCD同等の音質を実現しています。

MP3/WMAへ圧縮する方法

MP3/WMA専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。また、本機で再生可能なMP3/WMAファイルは、拡張子が「mp3」/「wma」です。（WMAはVer.7.1、8に対応）

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3：32kHz～48kHz

WMA：32kHz～48kHz

ビットレート

MP3：32kbps～320kbps、WMA：32kbps～320kbps

サンプリングレートまたはビットレートによっては正常に再生されない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3タグ / WMAタグについて

MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

本機で表示可能な文字は半角の英数、—（アンダーバー）のみです。ひらがな / カタカナ / 漢字には対応していません。

対応文字以外の場合、「NO SUPPORT」が表示されます。

また、タグ情報によっては、文字数が制限されたり正しく表示されないことがあります。

MP3/WMAディスクを作成するには

MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RW（DVD-R）メディアに書き込みます。ファイル最大数：1024、フォルダ最大数：256（ルートフォルダを含む）まで書き込みできます。ただしライティングソフトによっては再生できない場合があります。

MP3作成ソフトの一部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合には、他のライティングソフトを使用してMP3フォルダ（ファイル）のみを記憶してください。フォルダやファイルの構成によってはディスクの読み込みに時間がかかる場合があります。その場合は、フォルダ数またはファイル数を減らすことをおすすめします。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ / ファイル名の文字数、フォルダ / ファイル名で利用できる文字（A～Z、0～9、—（アンダスコア））などの制限があります。

また、Romeo、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。但し、ファイル名 / フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

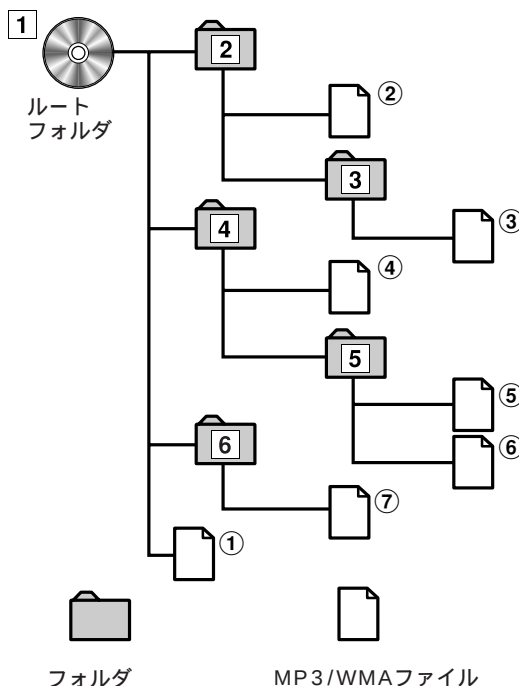
対応フォーマット

CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD（CD-Extra）、及びマルチセッションに対応しています。但し、Track At Onceやバケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。（実際に表示される番号ではありません）



用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMAファイルに書き込まれた楽曲情報。（MP3：ID3タグ、WMA：WMAタグ）

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ / ファイルはルートフォルダに含まれています。

知っておきたい豆知識

X-OVER(クロスオーバーネットワーク)はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は20Hz～20kHz位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域（低域、中域、高域など）に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター（LPF）」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター（HPF）」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせて利用します。このLPF/HPFを利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになるのです。

スピーカーについて

ハイレンジスピーカー

シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

ミッドレンジスピーカー

ボーカルの声/メロディ音など、主に中音域を出力するスピーカー。ローレンジ（サブウーハー）が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

ローレンジスピーカー（サブウーハー）

ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。人間の耳は80Hz以下の音に方向性を感じにくいので、LPFの設定は80Hz以下にするのが一般的です。80Hz以上の音がローレンジスピーカー（サブウーハー）からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

スロープ調整について

- 例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力（音量）が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は6dB、12dB、18dB、24dB/oct.を内蔵しており、スロープの数値が大きいくほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定はFLATにします。

調整のコツ

注意：接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照願います。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損/故障等が生じて、責任は負いかねますのでご注意願います。

3WAYの場合

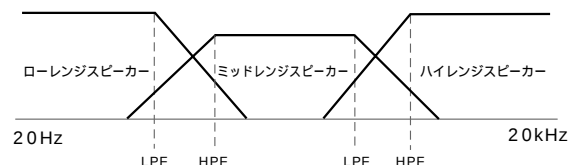
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー : 20Hz～80Hz
- ・ミッドレンジスピーカー : 80Hz～4kHz
- ・ハイレンジスピーカー : 4kHz～20kHz

とします。

このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ミッドレンジスピーカーのHPFを80Hzまたは100Hz、LPFを2kHz～4kHz、ハイレンジスピーカーのHPFは4kHzを目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行き最も最適な調整を探します。



2WAYの場合

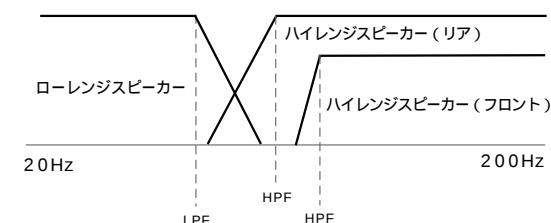
2WAYの場合は、2つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー : 20Hz～80Hz
- ・ハイレレンジスピーカー : 80Hz以上
(フロント/リア)

とします。

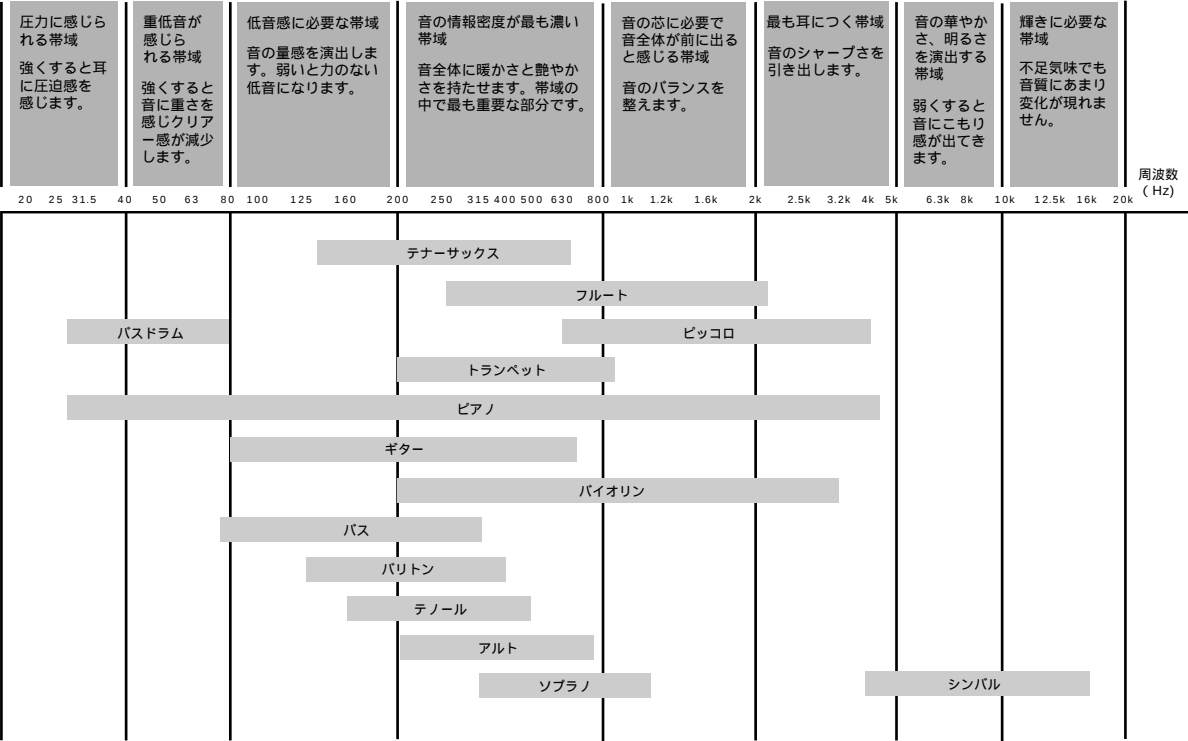
本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ハイレレンジスピーカーのHPFはフロント/リアそれぞれ80Hzまたは100Hzを目安とし、上記3WAYと同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



ミッドレンジスピーカー

周波数帯域と音質について

一般的に、周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調/減衰することにより、さまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



タイムコレクション（時間補正）の時間差表

STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
0	0.0	0.0	0.0	26	2.6	88.4	34.8	52	5.2	176.8	69.7	78	7.8	265.2	104.5
1	0.1	3.4	1.3	27	2.7	91.8	36.2	53	5.3	180.2	71.0	79	7.9	268.6	105.9
2	0.2	6.8	2.7	28	2.8	95.2	37.5	54	5.4	183.6	72.4	80	8.0	272.0	107.2
3	0.3	10.2	4.0	29	2.9	98.6	38.9	55	5.5	187.0	73.7	81	8.1	275.4	108.5
4	0.4	13.6	5.4	30	3.0	102.0	40.2	56	5.6	190.4	75.0	82	8.2	278.8	109.9
5	0.5	17.0	6.7	31	3.1	105.4	41.5	57	5.7	193.8	76.4	83	8.3	282.2	111.2
6	0.6	20.4	8.0	32	3.2	108.8	42.9	58	5.8	197.2	77.7	84	8.4	285.6	112.6
7	0.7	23.8	9.4	33	3.3	112.2	44.2	59	5.9	200.6	79.1	85	8.5	289.0	113.9
8	0.8	27.2	10.7	34	3.4	115.6	45.6	60	6.0	204.0	80.4	86	8.6	292.4	115.2
9	0.9	30.6	12.1	35	3.5	119.0	46.9	61	6.1	207.4	81.7	87	8.7	295.8	116.6
10	1.0	34.0	13.4	36	3.6	122.4	48.2	62	6.2	210.8	83.1	88	8.8	299.2	117.9
11	1.1	37.4	14.7	37	3.7	125.8	49.6	63	6.3	214.2	84.4	89	8.9	302.6	119.3
12	1.2	40.8	16.1	38	3.8	129.2	50.9	64	6.4	217.6	85.8	90	9.0	306.0	120.6
13	1.3	44.2	17.4	39	3.9	132.6	52.3	65	6.5	221.0	87.1	91	9.1	309.4	121.9
14	1.4	47.6	18.8	40	4.0	136.0	53.6	66	6.6	224.4	88.4	92	9.2	312.8	123.3
15	1.5	51.0	20.1	41	4.1	139.4	54.9	67	6.7	227.8	89.8	93	9.3	316.2	124.6
16	1.6	54.4	21.4	42	4.2	142.8	56.3	68	6.8	231.2	91.1	94	9.4	319.6	126.0
17	1.7	57.8	22.8	43	4.3	146.2	57.6	69	6.9	234.6	92.5	95	9.5	323.0	127.3
18	1.8	61.2	24.1	44	4.4	149.6	59.0	70	7.0	238.0	93.8	96	9.6	326.4	128.6
19	1.9	64.6	25.5	45	4.5	153.0	60.3	71	7.1	241.4	95.1	97	9.7	329.8	130.0
20	2.0	68.0	26.8	46	4.6	156.4	61.6	72	7.2	244.8	96.5	98	9.8	333.2	131.3
21	2.1	71.4	28.1	47	4.7	159.8	63.0	73	7.3	248.2	97.8	99	9.9	336.6	132.7
22	2.2	74.8	29.5	48	4.8	163.2	64.3	74	7.4	251.6	99.2				
23	2.3	78.2	30.8	49	4.9	166.6	65.7	75	7.5	255.0	100.5				
24	2.4	81.6	32.2	50	5.0	170.0	67.0	76	7.6	258.4	101.8				
25	2.5	85.0	33.5	51	5.1	173.4	68.3	77	7.7	261.8	103.2				

索引

五十音順

あ 行

アーティスト名から探す	67
アーティスト名表示	27, 28, 69
アルバム名から探す	67
アルバム名表示	27, 28, 69
イコライザー特性を選ぶ	32
イコライザーモード	
(FLAT、ROCK、POPSなど)の設定	32
エンコード	87
オープニングメッセージ	39
オープニングメッセージのON/OFF	39
音量/バランス/フェダー/ディフートの調整	10
音量調整モード	10

か 行

外部アンプの情報を表示させる	46
外部入力の設定	47, 48
外部割り込み時のディフート設定	49
外部割り込みモードの設定	49
カレンダー表示パターンの設定	40
記憶した放送局を受信する	26
聴きたい曲を探す (iPod)	66
規格	82
曲順を変えて聴く (CD)	19
曲順を変えて聴く (iPod)	68
曲順を変えて聴く (MP3/WMA)	23
曲のイントロだけを聴く (CD)	18
曲のイントロだけを聴く (MP3/WMA)	23
曲名表示	27, 28, 69
クイックサーチ (iPod)	67
グライドタッチ・バーの操作について	8
グラフィックEQの調整と記憶/呼び出し	33
繰り返し聴く (CD)	19
繰り返し聴く (iPod)	68
繰り返し聴く (MP3/WMA)	23
故障かな?と思ったら	79

さ 行

再生可能なサンプリングレート・ビットレート	87
サブウーハー出力レベル調整	10
サブウーハーを接続する	44
サンプリングレート	87
時間差表	89
時間補正	34
時刻/カレンダーを設定する	43

時刻表示の設定	43
時刻を表示する	42, 43
自動的に放送局を記憶する	25
シャッフル (iPod)	68
周波数から探す	26
周波数帯域と音質について	89
照光スイッチの色を切りかえる	36
照光スイッチの色を調整する	37
スキャン (CD)	18
スキャン (MP3/WMA)	23
スクロールタイプの設定	28
スクロールとは	27
スクロールの設定	28
セットアップ (SETUP) について	11
操作音の切りかえ	36

た 行

対応ファイルシステム	87
対応フォーマット	87
対応メディア	87
テキスト/スクロールとは	27
テキストを表示する	27
タイムコレクション	34, 35, 89
タイムコレクションについて	34
タイムコレクションの調整単位の設定	35
タイムコレクションの調整と記憶/呼び出し	35
タグ	87
チェンジャーでMD/CDを聴く	24
ツィーター設定	45
ディスタンスモード	25
ディスプレイの明るさ設定	38
ディスプレイの明るさレベルの調整	39
ディスプレイの開閉	10
ディスプレイの角度調整	9
ディスプレイ表示をOFFにする	37
テキストとは	27
テキスト表示 (曲名)	27, 28
テキスト表示 (ディスク名)	27, 28
テキストを表示する	27
ディフートの設定	10
デモンストレーション機能	44
デモンストレーション機能を解除する	44
電源のON/OFF	9
動画表示の設定	37
道路交通情報を受信する	26
トラフィックインフォメーション	26
取り付けと接続	72

は 行

ハイパスフィルター	30
パラメトリックEQの調整と記憶 / 呼び出し	32
バランス調整モード	10
光デジタル対応オーディオプロセッサを接続する	48
ビットレート	87
表示する文字フォントの設定	38
ファイルサーチ	22
ファイルNO.表示	21, 27
ファイル名表示	27, 28
ファンクションガイド	8
フェダー調整モード	10
フォルダサーチ	22
フォルダNO.表示	21, 27
フォルダ名表示	27, 28
フォルダを選択する	22
フォルダ / ファイルサーチ	22
放送局を記憶する	25

ま 行

マニュアルモード	25
ミックス (CD)	19
ミックス (iPod)	68
ミックス (MP3/WMA)	23
メッセージ	80

ら 行

ラジオを聴く	25
リセットする	9
リピート (CD)	19
リピート (iPod)	68
リピート (MP3/WMA)	23
リモコン	71
ローカルモード	25
ローパスフィルター	30

アルファベット / 数字

A to Z

AMPの温度表示切りかえ	47
AMPを呼び出して調整する	46
BLACK OUT機能	37
CDテキストから探す	20
CDを聴く	18
DX	25
DEFEATのON/OFF	10
EQ (FLAT, ROCK, POPSなど) のモード設定	32
FLAT	30
FLAT、ROCK、POPSなどの イコライザーモードの設定	32
GlideTouch™ Barの操作について	8
HPF	30
ID3タグ/WMAタグについて	87
i-Personalize™	41
LPF	30
Media Xpander	29
M.I.X. (CD)	19
M.I.X. (iPod)	68
M.I.X. (MP3/WMA)	23
MP3とは?	87
MP3/WMA再生データの設定	22
MP3/WMAディスクを作成するには	87
MP3/WMAについて	87
MP3/WMAへ圧縮する方法	87
MP3/WMAを聴く	21
MXモードの設定	29
Profile	41
REPEAT (CD)	19
REPEAT (iPod)	68
REPEAT (MP3/WMA)	23
REPEAT ALL	19
SCAN (CD)	18
SCAN (MP3/WMA)	23
SETUP	11
TRF	26
WMAとは?	87
X-OVERとは	30
X-OVERの調整と記憶 / 呼び出し	31

